HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

② 操作編

日立プラズマテレビ・液晶テレビ
（地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵）

形名
W37P-H9000
W42P-H9000
W32L-H9000
W37L-H9000

プラズマテレビ　　液晶テレビ

このたびは日立プラズマテレビ / 液晶テレビをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、4 モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種の外観は異なりますが操作は同じです。
また、プラズマテレビの W37P-H9000、W42P-H9000、W37L-H9000 は、スタンドが別売りとなっています。
本書では、主に W42P-H9000 に別売りのスタンドを取り付けたイラストを使用しています。それぞれの機種指定機能の場合には、「W42P-H9000 のみ」と記して説明しています。

最初に 「① 準備編」の取扱説明書に記載の【使用上のご注意】をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書と別冊の「① 準備編」の取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

特　長

リアルな映像表現を追求した
1080 ALIS パネル搭載
（プラズマテレビ）

動画表示能力に磨きをかけた
IPS αパネル搭載
（液晶テレビ）

ハイビジョン映像をより鮮やかに再現
Picture Master HD

地上・BS・110 度 CS
デジタルハイビジョン ダブルチューナー内蔵
（CATV パススルー対応）

リモコンでテレビが左右に回転
リモートスイーベル
（プラズマテレビ W37P-H9000、W42P-H9000、液晶テレビ W37L-H9000 は別売りスタンド使用時）

2 系統 HDMI 端子装備

SD メモリーカードスロット装備

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

この説明書で使用しているアイコンについて

⚠注意　安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください　操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ　操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

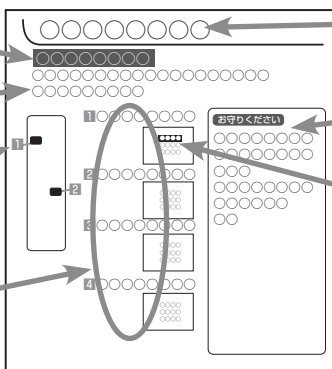
メ　モ　知っていると便利な操作・解説を記載しています。

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表し、

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

- 上下左右方向の操作
- 左右方向の操作
- 上下方向の操作
- 左方向の操作
- 上方向の操作
- 右方向の操作
- 下方向の操作

商標について

- i.LINK と i.LINK ロゴ “i” は、ソニー株式会社の商標です。
- D-VHS は、日本ビクター株式会社の登録商標です。
- SD ロゴは商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

もくじ

各部のなまえと働き（リモコン）

①液晶表示窓 12
②画面表示ボタン 35 , 67
③電源ボタン 12
④放送切換ボタン 12
⑤チャンネルボタン
または
文字・数字入力ボタン
12 , 82
⑥チャンネル番号入力ボタン 15
⑦音量ボタン 12
⑧カラーボタン 17
（青、赤、緑、黄）
⑨番組表ボタン 28
⑩メニューボタン 6
⑪カーソルボタン 6
⑫スイーベルボタン 70
⑬べんりボタン 8

⑭音声切換ボタン 62
⑮入力切換ボタン 34
⑯チャンネルアップ / ダウンボタン 12
⑰消音ボタン 63
⑱番組検索ボタン 21
⑲２画面ボタン 26
⑳ d 連動データボタン 17
㉑決定ボタン 6
㉒戻るボタン 6
㉓ DVD/HDD 操作ボタン 35

①**液晶表示窓** 12
放送切換ボタンで選んだ放送を表示します。

②**画面表示ボタン** 35 , 67
チャンネル番号や外部機器の情報などを表示します。

③**電源ボタン** 12
電源を入 / 切（スタンバイ状態）にします。

④**放送切換ボタン** 12
地上アナログ、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送を切り換えます。

⑤**チャンネルボタンまたは文字・数字入力ボタン** 12 , 82
チャンネルを選びます。また、設定などの文字や数字入力にも使用します。

⑥**チャンネル番号入力ボタン** 15
デジタル放送のとき、直接チャンネル番号を入力して選局するときに使用します。

⑦**音量ボタン** 12
音量を調節します。

⑧**カラーボタン（青、赤、緑、黄）** 17
デジタル放送の番組表やデータ番組の操作などに使用します。

⑨**番組表ボタン** 28
デジタル放送の番組表を表示します。視聴する番組を選んだり、録画する番組を選ぶときに使用します。

⑩**メニューボタン** 6
いろいろな設定や調節を行うメニュー画面を表示します。

⑪**カーソルボタン（上・下・左・右）** 6
メニューの項目を選ぶときに使用します。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

上下左右方向の操作

左右方向の操作

上下方向の操作

左方向の操作

上方向の操作

右方向の操作

下方向の操作

⑫**スイーベルボタン** 70
画面を見やすい向きにするときに使用します。
左右 30 度の範囲で画面の向きが変わります。

⑬**べんりボタン** 8
かんたん選局や番組ガイドなどのべんりメニュー画面を表示します。

⑭**音声切換ボタン** 62
二重音声放送およびステレオ放送のときに、2 カ国語 (二重) 音声、ステレオ音声など音声内容を切り換えます。

⑮**入力切換ボタン** 34
接続している外部機器の映像に切り換えます。

⑯**チャンネルアップ / ダウンボタン** 12
チャンネルを順 / 逆送りで選局します。

⑰**消音ボタン** 63
音声を一時的に消します。

⑱**番組検索ボタン** 21
番組検索画面を表示します。

⑲ **2 画面ボタン** 26
画面を2画面にします。

⑳ **d 連動データボタン** 17
データ放送の画面を表示します。

㉑**決定ボタン** 6
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

㉒**戻るボタン** 6
1 つ前の画面に戻ったり、設定画面を終了させることができます。

㉓ **DVD/HDD 操作ボタン** 35
接続した DVD プレイヤーや DVD/HDD レコーダーの基本的な操作をすることができます。

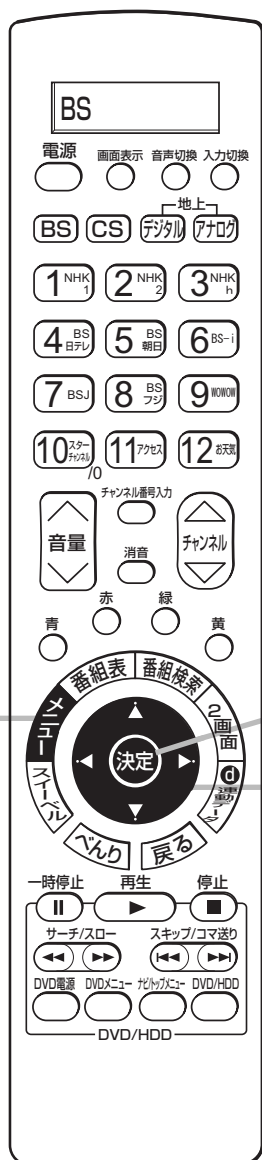
メ　モ

参照ページマークについて

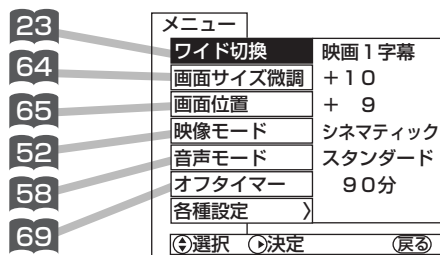
マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

メニュー機能の使いかた

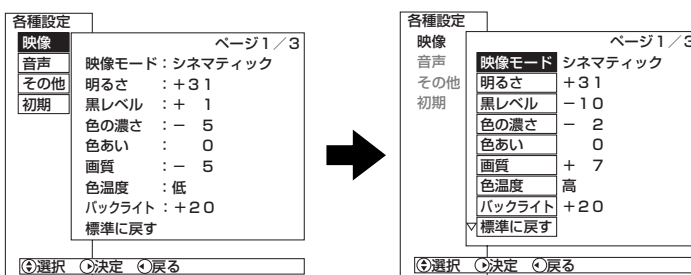
メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使ってほとんどの機能の設定ができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

2 ◯で項目を選び、◯または決定ボタンを押す

「各種設定」について

「各種設定」を選ぶと「映像」や「音声」、「受信設定」などの設定画面を表示することができます。

明るさなどの映像を調節したいときは

◯で「映像」を選び、◯または決定ボタンを押す

● 「バックライト」は、液晶テレビの場合のみ表示されます。

メ　モ

参照ページマークについて

■マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

□マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

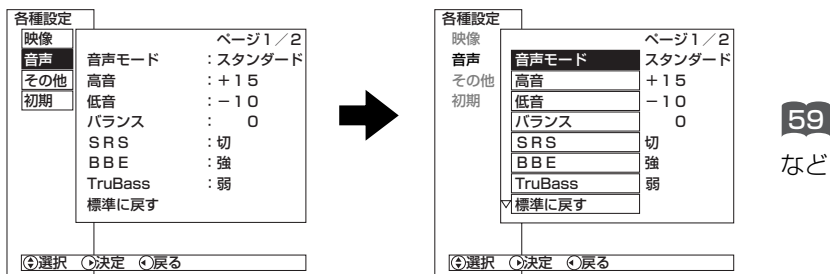
リモコンの戻るボタンについて

メニューやべんり機能 8 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

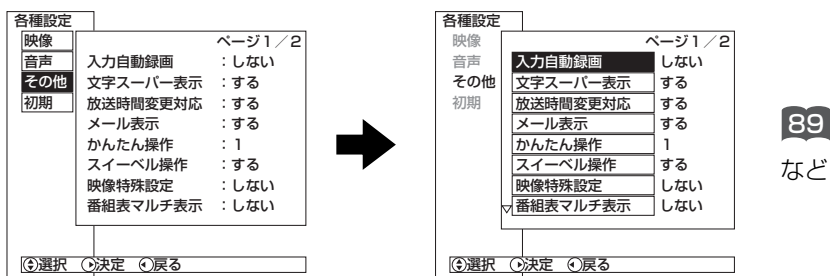
2

高音などの音声を調節したいときは

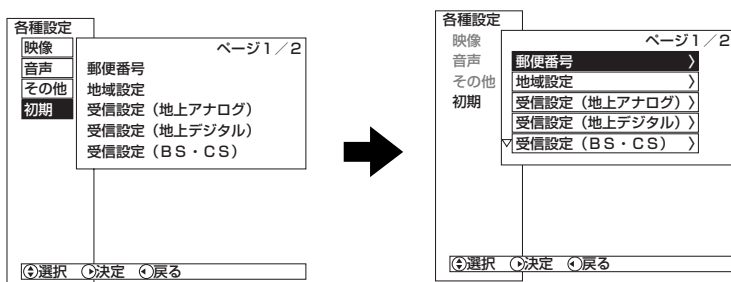
（上下）で「音声」を選び、（右）または決定ボタンを押す

59 など

かんたん操作などを設定したいときは

（上下）で「その他」を選び、（右）または決定ボタンを押す

89 など

受信設定などの設定をしたいときは

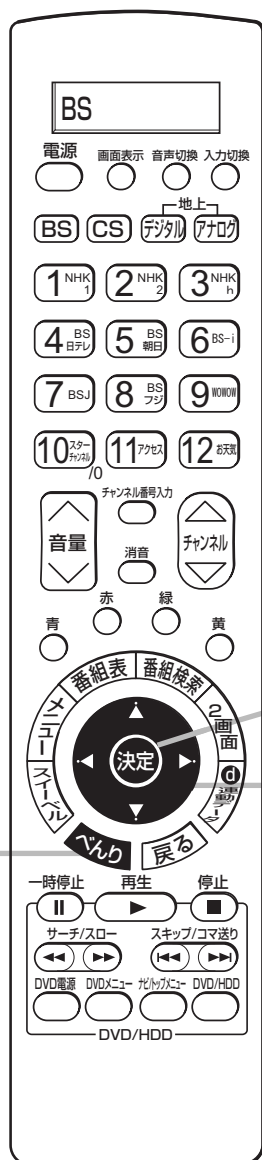
（上下）で「初期」を選び、（右）または決定ボタンを押す

「初期」設定画面については、別冊の取扱説明書（①準備編 65）をご覧ください。

- 「▽」の表示があるときは、（下）を押すと、 次のページが表示されます。
- 「△」の表示があるときは、戻るボタンまたは（上）を押すと前のページが表示されます。
- （上下）でグレー色の文字の項目を選んだときは、設定を切り換えたり、決定ボタンで操作することはできません。

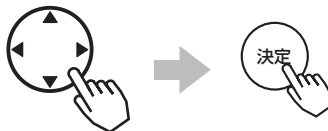
3

設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

べんり機能の使いかた

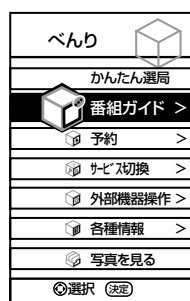
べんり機能を使うと多機能の画面を表示させたり、デジタル放送の各種情報画面などを表示させることができます。
これらの項目は上下左右方向にカーソルボタンを使って選択できます。

1 べんりボタンを押す

べんり画面が現れます。

2 ◯で項目を選び、決定ボタンを押す

かんたん選局を選んだとき

かんたん選局 20

よく見る放送局を登録し、かんたんに選局できるようにします。

番組ガイドを選んだとき

番組説明 30

視聴中のデジタル放送番組の詳しい内容を知ることができます。

番組検索 21

ジャンルやキーワードからデジタル放送番組を検索します。

メ モ

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

2

予約を選んだとき

予約一覧 47 50

予約された番組の確認と取り消しができます。
また、マニュアル予約や予約の修正を行なうことができます。

予約録画停止 46

予約録画している番組を停止します。

サービス切換を選んだとき

テレビ 19
ラジオ 19
データ 19

テレビ・ラジオ・データ放送の最後に見ていたチャンネルを選局することができます。

外部機器操作を選んだとき

かんたん操作 36

本機に接続した外部機器の基本操作を本機のリモコンで操作することができます。

i.LINK 操作 42

i.LINK ケーブルで接続した i.LINK 対応 D-VHS ビデオなどを本機で操作することができます。

各種情報を選んだとき

メール・ボード 97

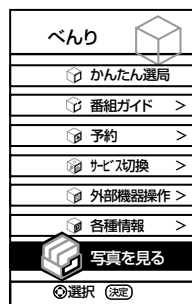
デジタル放送局からのメールやお知らせ（ボード）をご覧になることができます。

利用状況 95

有料番組の利用状況を確認することができます。

カード情報 98

B-CAS カード情報を表示することができます。
カードテストも行うことができます。

写真を見るを選んだとき

写真を見る 39

デジタルカメラなどでメモリーカードに記録した画像データを表示することができます。

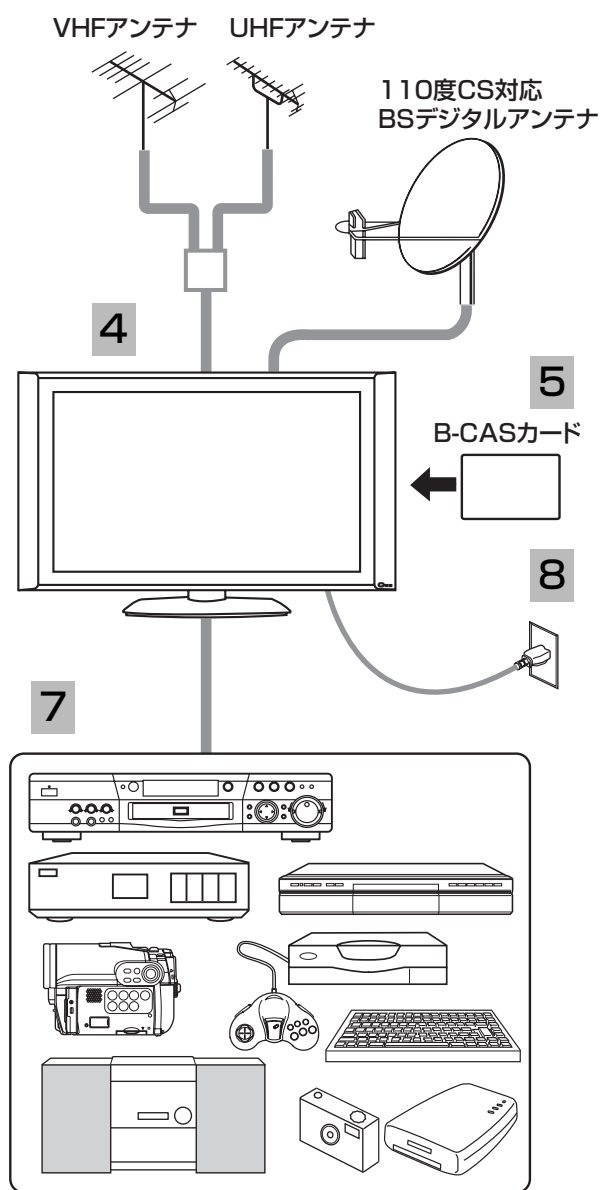
3 べんりボタンを押す

終了します。

戻るボタンを 1 ～ 2 回押しても、設定画面が消えます。

テレビを見る前の準備について

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
（設置・準備費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で準備をされるときは、「①準備編」の取扱説明書をご覧になり、下記の順番で作業してください。

1 付属品を確認します
（①準備編 2）

2 本機を据え付けます
（①準備編 25 , 26）

3 リモコンに電池をいれます
（①準備編 27）

4 アンテナ線と本機を接続します
（①準備編 28 , 30）

5 B-CAS カードを挿入します (重要)
（①準備編 31）

6 電話回線、LAN インターフェースを接続します
（①準備編 32 , 33）

7 お手持ちの機器を接続します
（①準備編 36）

8 電源プラグをつなぎます
（①準備編 49）

9 電話回線、ISP(プロバイダー)、LAN を設定します（①準備編 54 , 61 , 63）

10 お住まいの地域に合わせて受信設定をします
（①準備編 65）

11 接続した外部機器を設定をします
（①準備編 99）

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、下記の要件がすべて整っていることが必要です。

1. 受信地点は、すでに放送地域になっていますか？
関東・中京・近畿の三大都市圏では、2003 年 12 月から放送開始されています。その他の地域では、2006 年末までに順次、放送開始される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

2. UHF アンテナは、地上デジタル放送に対応していますか？
UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。

3. UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていますか？
現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが, 送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

4. 地上デジタル放送受信機の入力信号は、所要の信号強度がありますか？
地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

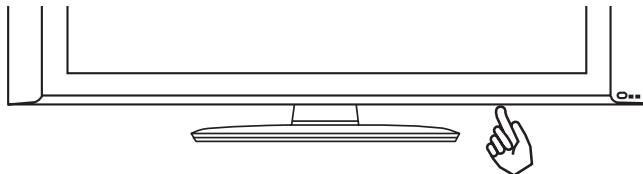
●ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

●地上デジタル放送を受信するためには、最初に「地域名」の設定と「初期スキャン」の操作が必要です。（①準備編 84）

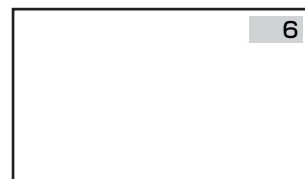
テレビを楽しむ

地上アナログ放送（UHF/VHF）を見る

準　備

●はじめに別冊の「①準備編」取扱説明書をご覧になり、アンテナの接続や受信設定などを行ってください。
●本体のスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。まず本体の主電源スイッチを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。

1 電源ボタンを押す

本体のスタンバイ／受像ランプが緑色に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

6

2 地上アナログ放送を選ぶ

最後に選んでいたチャンネルが選択されます。

6

リモコンの液晶表示窓は、「地上アナログ」と表示され1～12ボタンが地上アナログ放送モードに切り換わります。

3 チャンネルを選ぶ（1 ～ 12）

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示は約 6 秒で自動的に消えます。

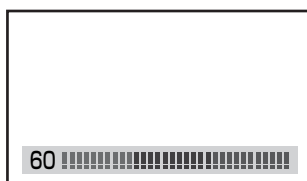
1

チャンネルアップ / ダウンボタン を使ってチャンネルを順逆送りで選ぶこともできます。

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と!!!!!!!!!!......で画面に表示されます。

大きくなる

小さくなる

《最大》

《最小》

お守りください

動作中に停電になったときのご注意
テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは、本体の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

2 画面を見たいとき

リモコンの 2 画面ボタンで選択することができます。26

(メ モ)

リモコンの操作は

スタンバイ / 受像ランプが点灯しているときにのみ、リモコンの操作は可能です。
リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、次回から電源の「入・切」もリモコンでできます。

本体操作で電源を入れるには

スタンバイ / 受像ランプが赤く点灯しているときに、本体側面の電源ボタンを押すと電源が入ります。31

スタンバイ／受像ランプについて

●スタンバイ／受像ランプが橙色に点灯しているときは、パワーセービング状態になっています。(①準備編 108)

①手順 1 で電源ボタンを押すとランプが赤に点灯し、電源が切れます。もう一度電源ボタンを押すと、ランプが緑に点灯し、電源が入ります。

②パワーセービング状態のときは、手順 3 のチャンネルを選んだり、入力切換ボタンを押すことにより電源を入れることもできます。

お買い上げ時のチャンネル設定

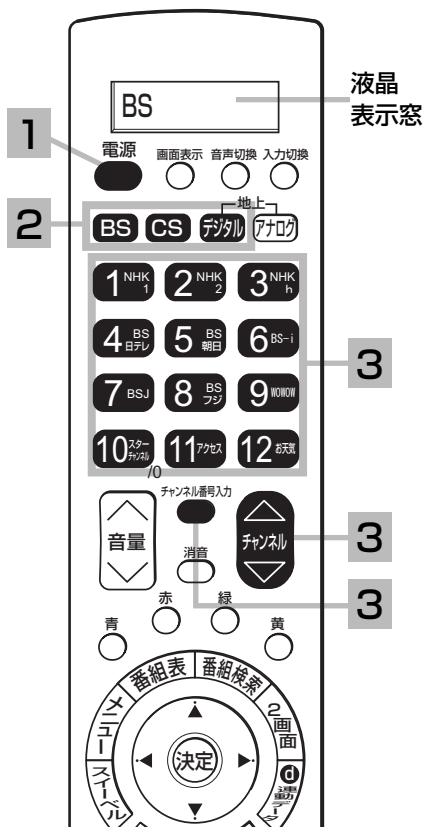
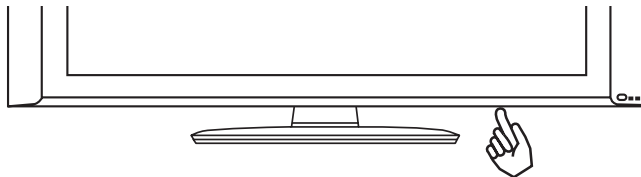
●お買い上げ時は、VHF1 ～ 12 チャンネルの 12 局が設定されています。
チャンネルの設定を変更することもできます。
(①準備編 66 , 74)

●空きチャンネルの飛び越し選局 (①準備編 83) の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

デジタル放送を見る

準　備

●はじめに別冊の「①準備編」取扱説明書をご覧になり、アンテナの接続や受信設定などを行ってください。

●本体のスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。まず本体の主電源スイッチを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。

1 電源ボタンを押す

モニターのスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。

電源を切るときは、もう一度押します。

6

2 デジタル放送（BS、CS、地上デジタル）を選ぶ

最後に選んでいたチャンネルが選択されます。

●リモコンの液晶表示窓は、それぞれ「BS」、「CS」、「地上デジタル」と表示され①〜⑫ボタンがそれぞれの放送モードに切り換わります。

●地上デジタル放送をご覧になるには、地上デジタル放送開始後に地上デジタルチャンネルの設定（CH 合せ（地域名））（①準備編 84）を行うことが必要です。

メ　モ

お買い上げ時のプリセット設定について

お買上げ時のプリセット設定は、下表の通りです。

プリセットされているチャンネルは変更ができます。（①準備編 88 92）

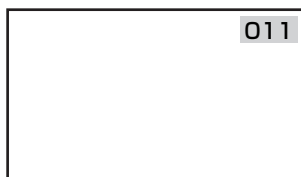
※チャンネル変更などにより選局できない場合もあります。(2006 年 7 月現在)

ボタン No.	BS		CS	
①	101ch	NHK1(NHK BS1)	100ch	スカパー！ 110 プロモ
②	102ch	NHK2(NHK BS2)	160ch	C-TBS ウェルカムチャンネル
③	103ch	NHKh(NHK ハイビジョン)	101ch	TAKARAZUKA SKY STAGE (プロモチャンネル)
④	141ch	BS 日テレ	194ch	AQ ステーション
⑤	151ch	BS 朝日	250ch	アクティブ！スポーツチャンネル
⑥	161ch	BS-i	110ch	ワンテンポータル
⑦	171ch	BSJ(BS ジャパン)	183ch	フジテレビ . ディノス
⑧	181ch	BS フジ	177ch	ショップチャンネル
⑨	191ch	WOWOW	991ch	SHOP & TV5
⑩	200ch	スターチャンネル (スター・チャンネル BS)	990ch	生活スタイル TV
⑪	755ch	BS 朝日データ	055ch	ep055 チャンネル
⑫	910ch	ウェザーニュース	－	

3 チャンネルボタンで選ぶ

チャンネルを選ぶ（1 ～ 12）

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。

011

チャンネルアップ / ダウンボタン を使ってチャンネルを順逆送りで選ぶこともできます。
放送によって複数チャンネルで放送されている場合、チャンネルボタンで選んだあと、チャンネルアップ / ダウンボタンを使ってサブチャンネルを選ぶこともできます。

番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合は、3 桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

①チャンネル番号入力ボタンを押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。

②ご覧になりたいチャンネル番号を入力する

例：チャンネル番号 021 を選局する場合

021

● BS や CS デジタル放送をご覧になっているときは、チャンネル番号入力の前に、BS、CS が表示されます。
●地上デジタル放送の場合、3 桁のチャンネル番号が県外の放送局と重複する場合があります。この場合は、4 桁目の番号（枝番）を入力してください。

番組やチャンネルのその他の選びかた

■かんたん選局 20
（登録しておいたチャンネルからすばやく選局することができます。）

■番組表 28
（番組表を見ながら選局や予約ができます。）

■番組検索 21
（番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。）

（次ページにつづく）

メモ

アップ / ダウン選局について

チャンネルスキップ設定（①準備編 89 94）により順逆送りするチャンネルが異なります。なお、チャンネルの設定については（①準備編 88 92）をご覧ください。
チャンネルアップ / ダウンできるチャンネルは、BS、CS、地上デジタルの各サービスモード内だけとなります。

地上デジタル放送について

地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送開始後に地上デジタルチャンネル設定（CH 合せ（地域名））（①準備編 84）を行なうことが必要です。

番号入力選局について

●チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約 5 秒以内に次の番号を押さなかったときは、選局動作をしません。
●地上アナログ放送をご覧になっているときは、一度デジタル放送に切り換えてから操作してください。

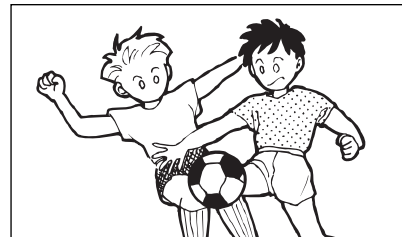
お知らせ

●電源を入れたとき、画面が出画するまで 15 秒程度の時間がかかることがあります。
●電源を入れて画面が出画するとき、デジタル放送の場合でもチャンネル番号表示はされますが、ロゴマークは表示されません。
●選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
・有料番組を選んだとき 22
・視聴制限の対象になる番組を選んだとき 93

5 音量

4 番組を楽しむ（視聴する）

無料の番組や契約済みの番組
（追加料金のかからないもの）

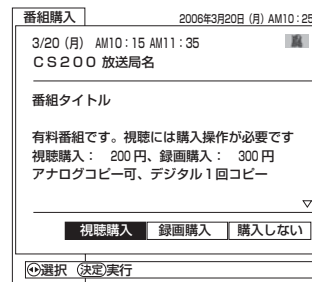
（例）

そのまま楽しむことができます。

ペイ･パー･ビューなどの 有料番組や追加料金が必要な番組

（例）

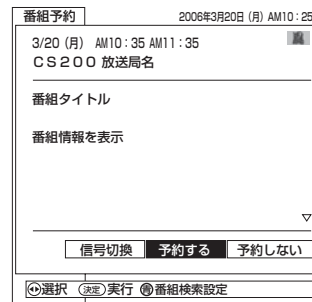
番組購入　2006年3月20日（月）AM10：25
3/20（月）AM10：15 AM11：35
ＣＳ２００ 放送局名
番組タイトル
有料番組です。視聴には購入操作が必要です
視聴購入：　200円、録画購入：　300円
アナログコピー可、デジタル１回コピー
視聴購入　録画購入　購入しない
選択　決定 実行

ご覧になるには、購入操作が必要です。

番組の購入については 22 をご覧ください。

現在時刻以降の番組

（例）

ご覧になるには、予約登録が必要です。

予約の方法については 44 をご覧ください。

視聴制限対象になる番組

（例）

ご覧になるには、暗証番号の入力が必要です。

視聴制限の対象になる番組を選んだ場合 93 をご覧ください。
設定方法については、視聴制限の設定 91 をご覧ください。

5 音量を調節する

音量の大きさが数字と!!!!!!!!!......で画面に表示されます。

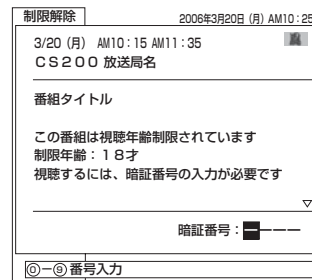
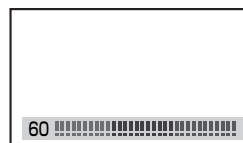
大きくなる

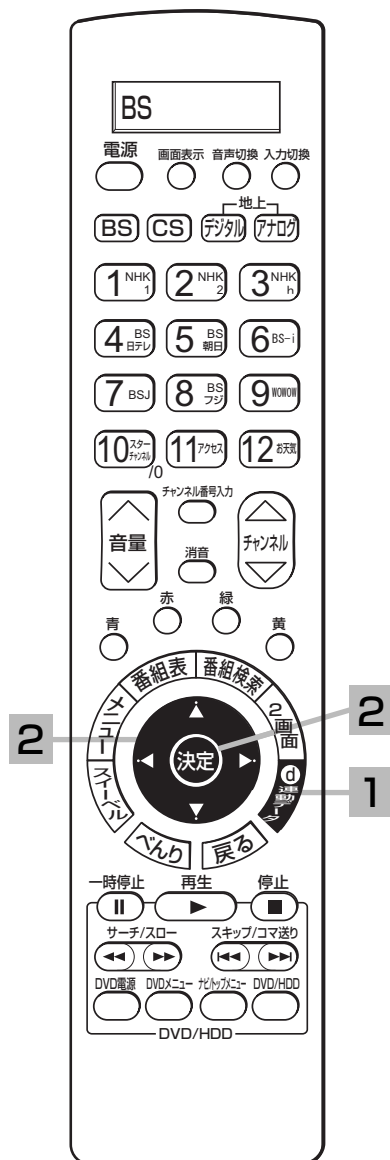
小さくなる

《最大》

《最小》

お知らせ

- ペイ・パー・ビューとは、見たい番組を画面操作により購入を申し込み、見た分だけ料金を支払うものです。ペイ・パー・ビューの視聴には電話回線の接続が必要です。
- お買い上げ時、視聴制限は「切」に設定されています。

データ放送を見る

デジタル放送では、放送局より送られてくる画面情報に従い操作することで、いろいろな情報をご覧になることができるデータ放送があります。
データ放送画面で操作できる内容は放送局により変わります。ここでは、テレビ番組に関連したデータ放送が行われた場合を例に説明しています。

1 ⓓ 連動データボタンを押す

データ放送画面が表示されます。
画面表示以外のメニュー画面などを表示している場合、メニュー画面などを終了させてから ⓓ 連動データボタンを押してください。

2 (カーソルボタン)で項目を選び、決定ボタンを押す

項目の選択方法や選択状態を示す方法、操作するボタンなどは番組によって異なります。画面の指示に従って操作してください。

3 データ放送を終了したい場合は、画面の指示に従って操作する

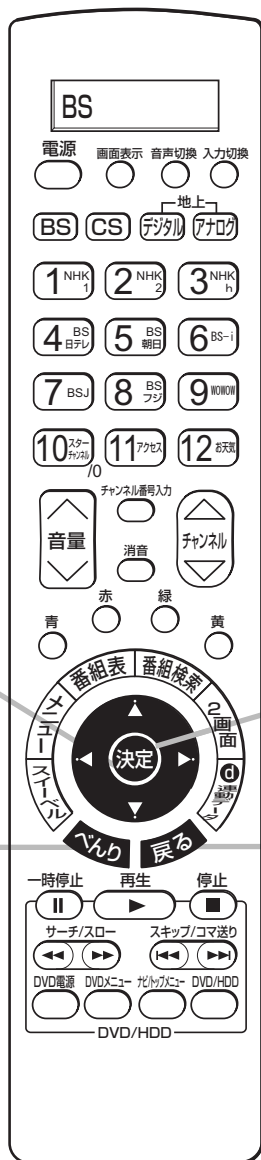
指示がない場合は、ⓓ 連動データボタン、戻るボタンで終了できる場合もあります。

お知らせ

- ●データ放送画面は、チャンネルや画面内容によっては、表示されるまでにかなり時間がかかる場合（2 分位）がありますが、故障ではありません。
- ●データ放送では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中は電源ボタン以外の操作ができなくなることがあります。
- ●操作のしかたは番組の内容によって異なります。画面の指示に従って次のボタンを使用します。
  カーソルボタン ／ 戻るボタン ／ 数字ボタン（1～10）／ 青、赤、緑、黄ボタン／決定ボタン／ ⓓ 連動データボタン
- ●ワイド映像でない従来 (通常) の 4：3 映像を､スムーズモードを利用してご覧になるとデータ放送画面がずれて表示されます。

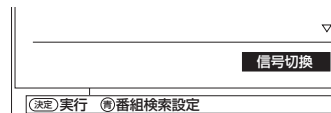
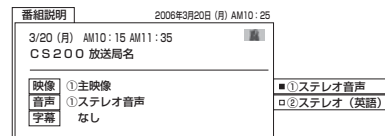
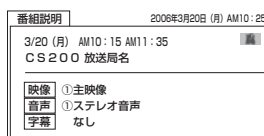
複数の映像、音声からお好みのものを選ぶ

番組により、映像や音声などの信号を切り換えて楽しむことができます。
切り換え可能な信号の内容は番組によって異なります。切り換えた信号が有料な場合もあります。
字幕表示の設定もできます。

1 べんりボタンを押し、上下ボタンで「番組ガイド」を選び、右ボタンまたは決定ボタンを押す

2 上下ボタンで「番組説明」を選び、決定ボタンを押す

番組説明画面が表示されます。

3 「信号切換」で、決定ボタンを押す

信号切換画面が表示されます。

4 上下ボタンで設定する項目を選び、右ボタンまたは決定ボタンを押し、上下ボタンで設定する

映像	複数の映像がある場合は切り換えができます。 マルチビュー放送の場合、映像の切り換えに連動して音声も自動で切り換わります。
音声	複数の音声がある場合は切り換えができます。
字幕	複数の字幕がある場合は切り換えができます。 「なし」を選択すると字幕は表示されません。

切り換えた信号が有料の場合、購入画面が表示されます。22 と同様に購入操作を行ってください。

5 設定が終了したら左ボタンまたは決定ボタンを押す

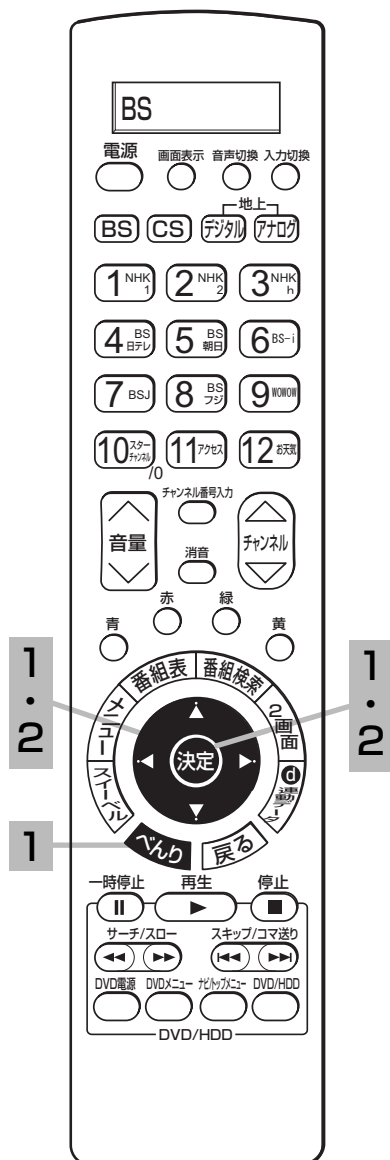
6 戻るボタンを押す

終了します。

お知らせ

- 映像や音声の名称が放送局側から送られている場合は、送られてきた名称を表示します。
- 字幕のある番組で一度字幕ありに設定すると、字幕のある番組では常に字幕を表示します。
- お買い上げ時は、字幕は「なし」に設定されています。

サービスを切り換える

テレビ・ラジオ・データ放送の最後に見ていたチャンネルを選局することができます。

1 べんりボタンを押し、で「サービス切換」を選び、または決定ボタンを押す

2 でお好みのサービスを選び、決定ボタンを押す

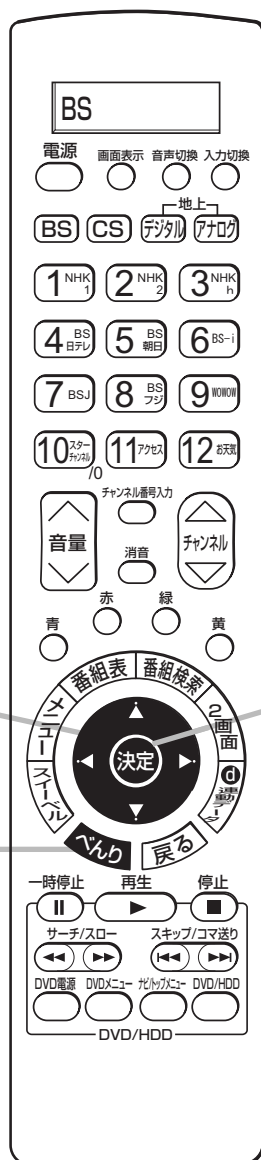
サービスが行われていない場合、項目がグレー表示になります。

お知らせ

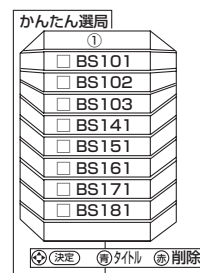
ラジオ放送には映像のない番組があります。このときは、画面には何も表示されませんので、本機の電源の切り忘れ等にご注意ください。

デジタル放送を見る

「かんたん選局」で選局する

よくご覧になるチャンネルをかんたん選局として登録しておくと便利です。
かんたん選局は①から⑥の 6 グループあり、各グループに 9 チャンネルまで登録できます。

1 べんりボタンを押し、(上下)で「かんたん選局」を選び、決定ボタンを押す

かんたん選局画面が表示されます。

2 (上下)でチャンネルを選び、決定ボタンを押す

- ●(左右)で①から⑥を切り換えることができます。
- ●放送中の番組名を表示させたいときは、(青) ボタンを押します。消すときは、もう一度 (青) ボタンを押します。(地上アナログ放送では表示できません。)
- ●選局しない場合は、戻るボタンを押すと放送画面に戻ります。
- ●本機は、お買い上げ時にあらかじめ次のようなチャンネルを設定してあります。

お買い上げ時の設定

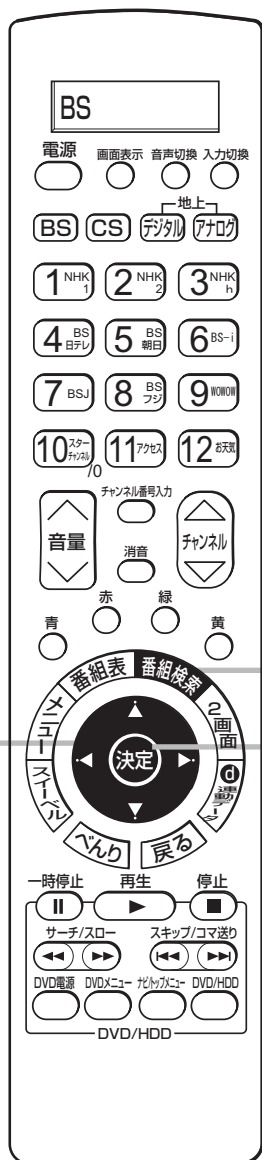
①	②	③	④	⑤	⑥
BS101	011	CS100	—	—	—
BS102	021	CS110	—	—	—
BS103	041	CS183	—	—	—
BS141	051	CS250	—	—	—
BS151	061	CS160	—	—	—
BS161	071	CS177	—	—	—
BS171	081	CS101	—	—	—
BS181	091	CS194	—	—	—
—	—	—	—	—	—

- ●ー部分は未設定の部分です。
- ●②に登録されているチャンネルは、地上デジタル放送のチャンネルです。初期スキャンを行っていない場合は、ーーー表示となります。
  また、放送のないチャンネルはスキャン後もーーー表示のままです。

お知らせ

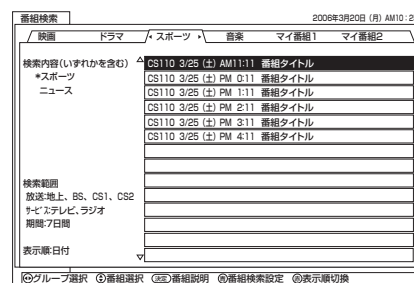
あらかじめ設定されているチャンネルでも、チャンネル変更などにより選局できない場合もあります。(2006年3月現在)

お好みの番組を検索して選ぶ（番組検索）

6 つのグループに、それぞれ 7 個までのジャンルかキーワードを設定することができます。お買い上げ時、「映画」には映画、「ドラマ」にはドラマ、「スポーツ」にはスポーツ、「音楽」には音楽が設定してあります。
「マイ番組 1」、「マイ番組 2」には何も設定されていません。ジャンルやキーワードの変更、「マイ番組 1」、「マイ番組 2」への登録については 77 をご覧ください。

1 番組検索ボタンを押す

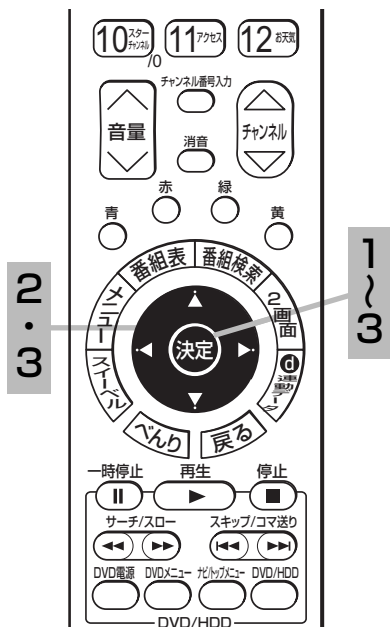
番組検索画面が表示されます。

べんり機能の「番組ガイド」からも番組検索を表示することができます。

2 ◯で番組を選び、決定ボタンを押す

- ◯でグループを切り換えることができます。
- 表示を消すときは、戻るボタンを押します。
- (赤) ボタンを押すと、表示する番組の順番をチャンネル番号順と日付順に切り換えることができます。
- (緑) ボタンを押すと前ページを表示することができます。また (黄) ボタンを押すと次ページを表示することができます。

有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する

BS、CS デジタル放送には無料と有料のものがあります。有料のものには、事前に申し込みが必要な契約チャンネルと、画面上で購入操作が必要になるペイ・パー・ビュー番組があります。

ペイ・パー・ビュー番組を選びます。

1 決定ボタンを押す

購入画面が表示されます。

プレビュー
視聴には購入操作が必要です
(決定)購入操作

番組によっては、プレビュー（購入する前に無料で数分間視聴できる期間のこと）が表示されます。
プレビューの時間は番組で異なることがあります。
プレビューのない番組もあります。

2 ◁▷で「購入する」、「視聴購入」、「録画購入」、「購入しない」の何れかの項目を選び、決定ボタンを押す

購入確認が表示されます。

番組タイトル

有料番組です。視聴には購入操作が必要です
視聴購入： 200 円、録画購入： 300 円
アナログコピー可、デジタル 1 回コピー

視聴購入 録画購入 購入しない

◁▷選択 (決定)実行

購入する	番組を購入します。但し、コピーガードにより録画できないことがあります。
購入しない	番組を購入しません。

追加料金を支払えば録画できる場合には、次の項目が表示されます。

視聴購入	番組を購入します。番組をご覧になれますが、コピーガードにより録画はできません。
録画購入	番組を購入します。番組をご覧になることも、録画することもできます。

3 ◁▷で「はい」を選び、決定ボタンを押す

購入しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。

番組タイトル

有料番組です。視聴には購入操作が必要です
購入金額： 200 円
アナログコピー可、デジタル 1 回コピー

番組購入します はい いいえ

◁▷選択 (決定)実行

これで購入操作は完了しました。購入操作が完了した時点で課金されます。これ以後、実際に視聴しなかった場合でも料金が請求されます。

お知らせ

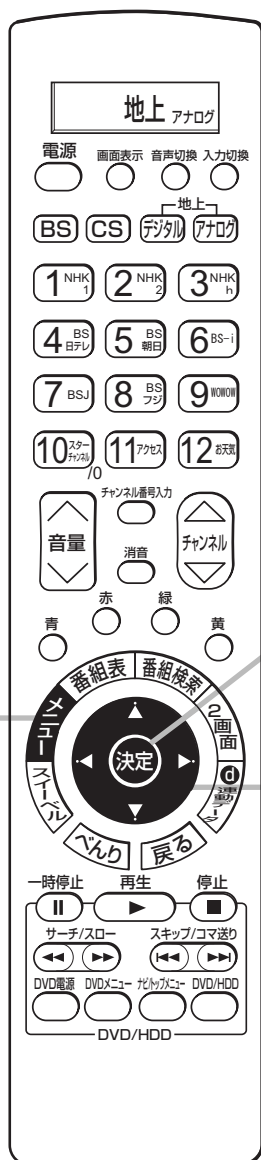
- 画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切り換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局したときは、制限解除画面が表示されます。視聴制限の設定や解除の方法は91、93をご覧ください。
- 購入した番組を録画する場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
- 番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。
- 2 画面で地上デジタル、BS、CS デジタル放送をご覧のときは、◇および決定ボタンで、1，2の操作ができないことがあります。
  このときは、2 画面を解除して操作してください。
- 購入情報が自動送信できなかった場合は、番組を購入できません。この場合、「視聴履歴を送信する」96をご覧になり、購入情報を送信してください。

メ モ　コピーガードについて

BS、CS デジタル放送の中にはビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。

映像に合わせてワイド画面を切り換える

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。
さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

ワイドモードの選びかた

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

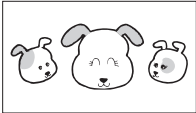
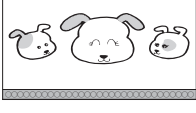
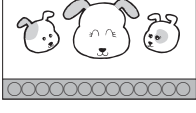
2 ◯で「ワイド切換」を選び、◯または決定ボタンを押す

3 ◯でワイドモードを設定する

◯を押すたびにワイドモードは、次のように切り換わります。

- 地上アナログ放送/ハイビジョン以外のデジタル放送(4:3番組)･ビデオ入力時
  スムーズ ⟷ 映画1 ⟷ 映画1字幕
  ノーマル ⟷ フル ⟷ 映画2字幕
- ハイビジョン以外のデジタル放送(16:9番組)
  フル ⟷ ズーム1 ⟷ ズーム2
- ハイビジョンのデジタル放送･ビデオ入力時
  フル1 ⟷ フル2 ⟷ ズーム1 ⟷ ズーム2

ワイド切換
□スムーズ
□映画１
■映画１字幕
□映画２字幕
□フル
□ノーマル
設定

※ハイビジョン (HD)：1125i(1080i)、750p(720p)
　ハイビジョン以外 (SD)：525i(480i)、525p(480p)

●地上デジタル、BS・CS デジタル放送またはコンポーネント /HDMI 入力の16：9 映像で画面の左右に帯がついた４：３映像をご覧になるときに、映像を拡大することができます。デジタル放送モード毎に選択することができます。
　・フル (フル１ フル２)　：オリジナルの画面の左右に帯が付いた映像
　・ズーム１　：横方向に画面一杯まで拡大した映像
　・ズーム２　：スムーズ相当の映像

●ワイドモードは、地上アナログ放送やデジタル放送、ビデオ１～ビデオ５入力の各モード毎に設定することができます。

●お買い上げ時は、地上アナログ放送、デジタル放送 (SD)、ビデオ入力時は「スムーズ」が設定されています。

●設定したワイドモードは電源を切っても記憶されています。

●ラジオ放送などの映像のない番組や受信途中で映像情報を取得できない場合は、正しく切り換えできないことがあります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

◯または決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

映像に合わせてワイド画面を切り換える

ワイドモードについて

	ノーマル 通常の4:3の映像は中央に映ります。		**フル / フル 1** 横方向を圧縮して記録された映像（スクイーズ映像）を横方向に画面一杯まで拡大します。ハイビジョン番組を楽しむときなどに使います。 **フル 2** ハイビジョン番組をオリジナルな映像で楽しむときなどに使用します。画面サイズはフル (フル 1) より表示領域が広くなります。
	スムーズ 4：3 の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向を画面一杯にし、垂直方向に 10% 拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。	16:9放送 ⇩ 	**ズーム 1** デジタル放送またはコンポーネント / HDMI 入力 1125i(1080i)、750p (720p) の１６：９映像で左右に帯のある映像を拡大することができます。フル相当の映像になります。
	映画 1 ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約 30% 拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。		
	映画 1 字幕 字幕付のビスタサイズの映像に最適です。	16:9放送 ⇩ 	**ズーム 2** デジタル放送またはコンポーネント / HDMI 入力 1125i(1080i)、750p (720p) の１６：９映像で左右に帯のある映像を拡大することができます。スムーズ相当の映像になります。
	映画 2 字幕 字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。（お買い上げ時の画面位置は＋ 10 に設定されています。）		

お知らせ

- ●このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ●このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ●ワイド映像でない従来（通常）の４：３の映像をスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。また、データ放送画面がずれて表示されます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- ●本機は、アスペクト比制御信号の入った映像がビデオ 1, 2, 5 の S2 映像入力に入力されると自動的にワイド画面一杯に表示します。（ワイド制御信号検出 66）
- ●ワイドモード「フル 2」に設定すると、番組により映像の周辺にドット状のノイズなどが見えることがあります。このようなときは「フル 1」に設定してください。
- ●ノーマルモードで長時間ご覧になると、中央の映像部分（両側の帯以外の部分）が焼き付く場合があります。
  焼き付きを防ぐには、ノーマルモード以外のモードで使用することをおすすめします。
- ●ノーマルモードでご覧になる場合には背景色をグレーまたはオート 1/2 に設定する 75ことで焼き付きを軽減できます。
- ●焼き付きが軽度のときは白パターンを表示する 76、または画面一杯に動画を映すことにより目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
- ●地上デジタル、BS・CS デジタル放送またはコンポーネント /HDMI 入力の 16：9 映像で画面の左右に帯がついた４：３映像をご覧になる場合には、ズーム 1 またはズーム 2 に設定することで焼き付きを軽減できます。

メモ

ワイド機能の上手な使いかた

通常の4：3映像

「ノーマル」　「スムーズ」にして楽しむ

上下に黒帯のある映像

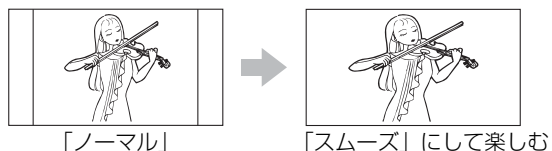
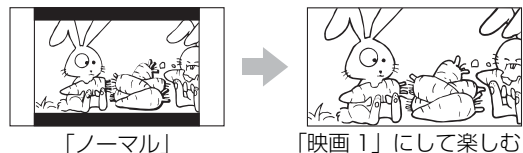
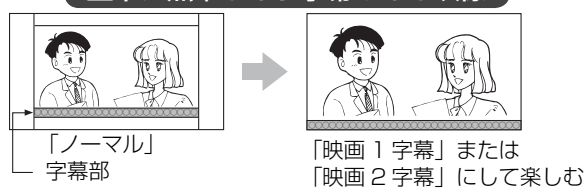
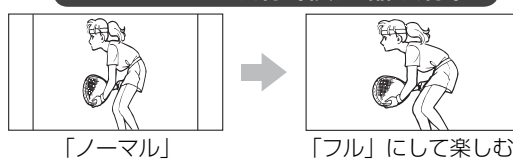
「ノーマル」　「映画 1」にして楽しむ

上下に黒帯があり字幕のある映像

「ノーマル」
字幕部

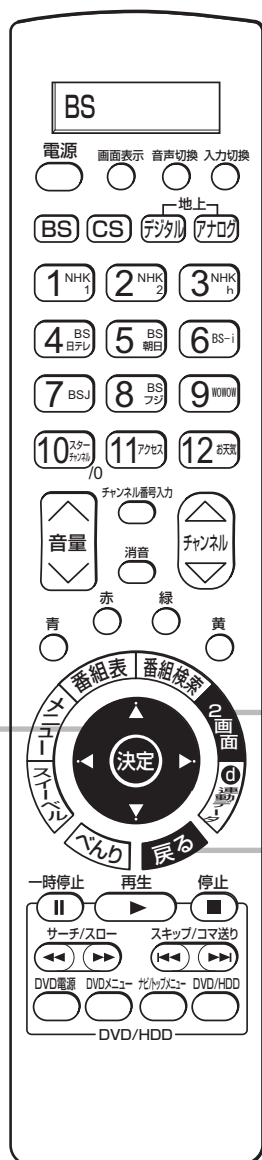
「映画 1 字幕」または
「映画 2 字幕」にして楽しむ

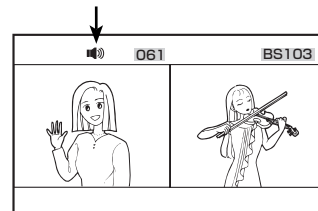
スクィーズ映像（横圧縮映像）

「ノーマル」　「フル」にして楽しむ

コンポーネント入力時のワイドモードについて

ビデオ 3，4 のコンポーネント入力端子に D 端子ケーブルで 525i（480i）、525P（480P）信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。（メニュー「その他」の「ワイド制御信号検出」設定が「する」のとき 66）

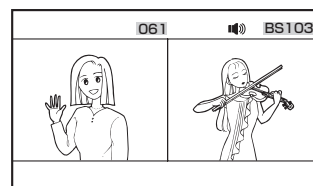
2画面で番組を楽しむ

同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利な機能です。

1 2画面ボタンを押す

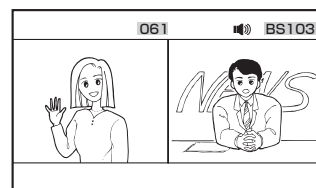
🔈マークは、音声を選んでいる画面を示します。

●地上アナログ放送とBS・CSデジタル放送、地上デジタル放送とBS・CSデジタル放送などを2画面で表示できます。
●デジタルチャンネルのデータ放送やi.LINK端子/DV入力端子に接続したD-VHSなどの画面およびSDメモリーカードの「写真を見る」画面は、2画面で見ることはできません。

2 画面切り換え

◁▷で左画面と右画面を切り換える

🔈表示が選ばれた画面を示します。

3 チャンネル切り換え

△▽でチャンネルを切り換える

🔈が表示している画面のチャンネルが切り換えられます。

●左画面を選んでいる場合も同様に、チャンネルを切り換えることができます。
●チャンネルボタンでも切り換えることができます。
●ビデオ1～ビデオ5に切り換えるときは、入力切換ボタンで切り換えてください。
●デジタル放送に切り換えるときは、BS、CS、地上デジタルボタンで切り換えてください。

4 もう一度2画面ボタンを押すと🔈表示の画面が1画面となって2画面を終了します

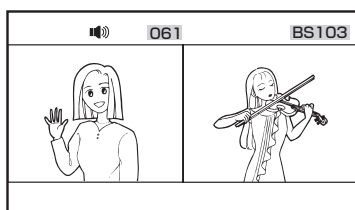
戻るボタンを押して、2画面を終了することもできます。

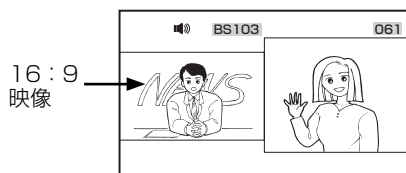
お知らせ

- 「コンポーネント入力ーコンポーネント入力」および「HDMI 入力ー HDMI 入力」同士の 2 画面表示はできません。
- 地上アナログ放送または外部ビデオ入力では、同じチャンネルまたは同じビデオ入力は選ぶことはできません。
- 2 画面表示をする前に視聴していた画面が左画面になります。

メ　モ

2 画面について

2 画面のときの音声出力、モニター出力は、下記のようになっています。

		選んでいる画面	
		左画面	右画面
スピーカー		左画面の音声	右画面の音声
ヘッドホン	モード 1	左画面の音声	右画面の音声
	モード 2	右画面の音声	右画面の音声
モニター出力		左画面の映像、音声	右画面の映像、音声

- ヘッドホンモードの選択は 60 を参照してください。
- 地上デジタル、BS・CS デジタル放送の 16：9 映像、ビデオ 4、5 のコンポーネント入力（1125i(1080i)、750p(720p)）の場合、ワイド画面のまま表示されます。

2 画面時のモニター出力について

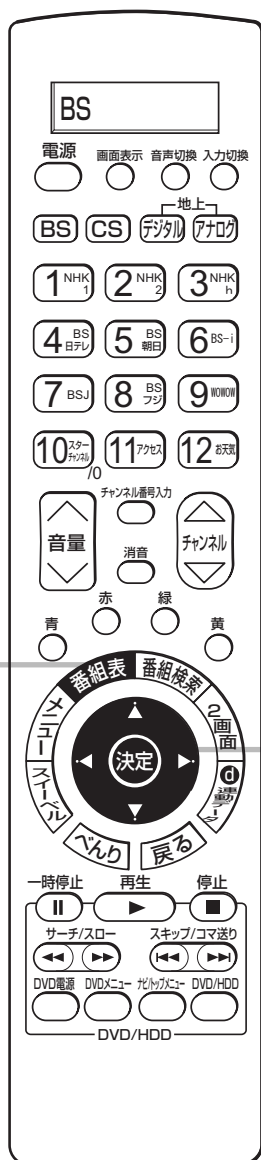
- モニター出力端子からは、2 画面の映像は出力されません。モニター出力端子からは選んでいる画面の映像と音声が出力されます。
- メニュー「その他」の「入力自動録画」が「する」設定のときは、モニター出力端子から映像と音声は出力されません。ただし、予約録画中は録画している番組の映像と音声が出力されます。
- ビデオ 1、2 入力端子に入力された HDMI 信号および、ビデオ 3、4 入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。
- ビデオ入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニュー「初期」の「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ）」を「する」に設定してください。（①準備編 100）

電子番組表（EPG）表示機能について

番組表を表示する

本機はデジタル放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。
表示される番組は、BS、CS、地上デジタル放送ごとにサービス別で表示されます。

1・3

2

1 番組表ボタンを押す

デジタル放送を見ているときに番組表ボタンを押すと、受信している放送の番組表画面が表示されます。
番組表はテレビ、ラジオ、データ放送ごとに表示されます。

2 (上下左右ボタン)で番組を選ぶ

●放送中の番組を選び、決定ボタンを押すと番組説明が表示されます。
　また、その番組を選局することができます。
●これから放送される番組を選び、決定ボタンを押すと、予約画面になります。
　予約の方法については 44 をご覧ください。
●左右端から(左右ボタン)で 1 チャンネルごとに表示チャンネルが切り換わります。
●上下端から(上下ボタン)で 1 時間ごとに、表示時間が切り換わります。

3 番組表ボタンを押す

終了します。

メ　モ

放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

番組表画面について

お知らせ

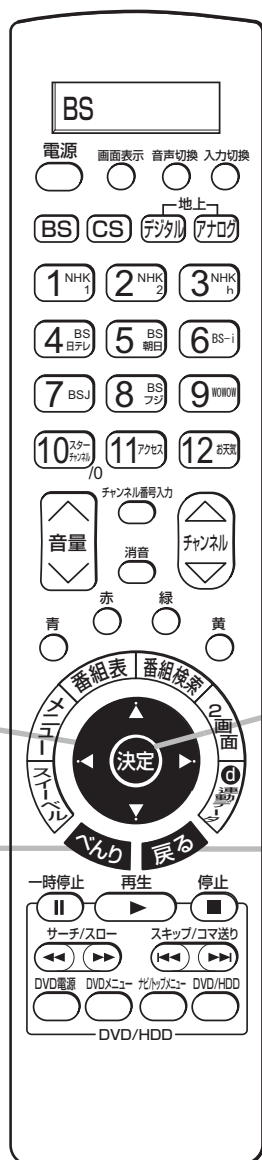
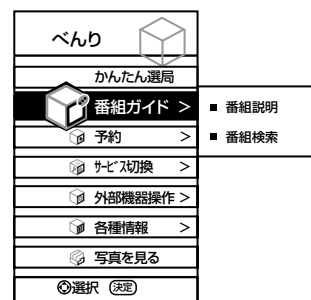
- ●番組情報は、本機内部に事前に受信した内容が表示されます。お買い上げ時や電源を入れたときなどは、しばらくなにも表示されないことがあります。
- ●番組情報は送られていない場合もあります。番組情報が表示されていないときは、放送中の時間でも選局できません。
- ●番組間が水色で表示されている部分には、番組名を表示できない放送時間の短い番組が存在します。
- ●テレビ放送の場合、NHK BS1・BS2・ハイビジョン・WOWOW はそれぞれ別のチャンネルとしてチャンネル番号表示されますが、BS 日テレなどは 1 番小さいチャンネル番号だけが表示されます。
- ●現在時刻より数時間前までの番組を表示することができます。
- ● CH スキップ設定で「スキップ」を「する」にしたチャンネルは表示されません。
- ●番組によっては、前の番組の終了時間と次の番組の開始時間が 1 分間重なって表示される場合があります。これは、秒単位を繰り上げまたは繰り下げ処理をして表示しているもので、故障ではありません。

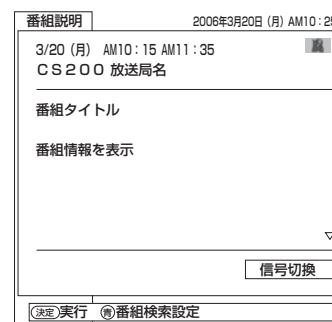
メ　モ

放送局によって複数のチャンネルで放送されている場合、選んでいるチャンネルの番組表の右または左にサブチャンネルが縦の水色の帯で表示されます。◯でサブチャンネルの番組表を選び表示することができます。また､番組表マルチ表示 94 を「する」に設定すると、すべてのチャンネルを表示することができます。サブチャンネルが存在しない場合は、空欄表示になります。

電子番組表（EPG）表示機能について

見ている番組のタイトルなどを表示する

本機はデジタル各放送局の番組データを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。

1 べんりボタンを押し、(▲▼)で「番組ガイド」を選び、(▶)または決定ボタンを押す

2 (▲▼)で「番組説明」を選び、決定ボタンを押す

番組説明画面が表示されます。

△▽マークが表示されているときは、1 画面に表示しきれない番組説明があります。(▲▼)で表示をスクロールすることができます。

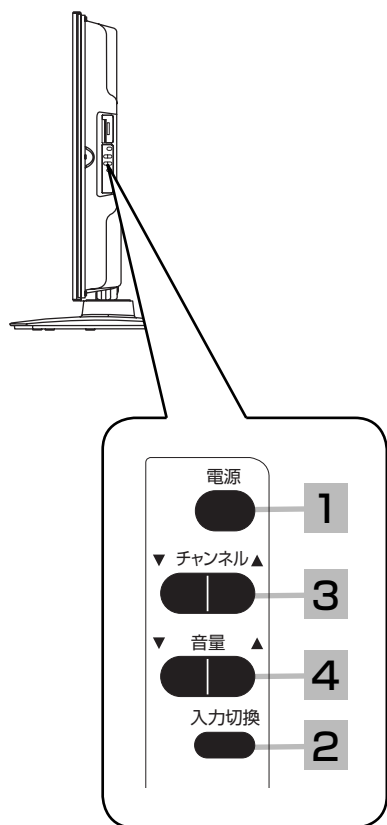
3 戻るボタンを押す

終了します。

メ モ

現在時刻の表示は放送局から送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。

本体で操作する

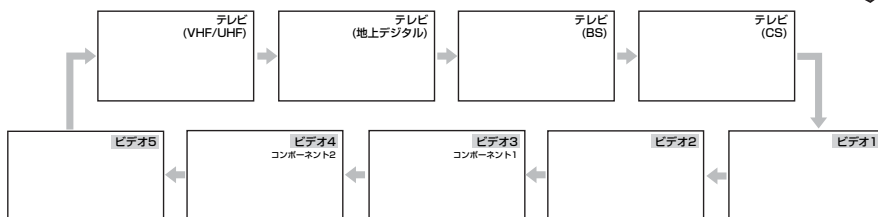
お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。

1 電源を入れる

本体の主電源スイッチを押してスタンバイ / 受像ランプが赤く点灯している場合は、本体側面の電源ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ / 受像ランプが緑に点灯します。電源を切るときは、もう一度電源ボタンを押します。

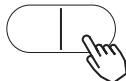
スタンバイ / 受像ランプが緑に点灯しているときに主電源スイッチを切にした場合、次に主電源スイッチを入にすると、電源が入りスタンバイ / 受像ランプが緑に点灯します。

2 入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

（お買い上げ時）

地上デジタル放送を選択するには、地上デジタル放送開始後に地上デジタルチャンネルの設定（CH 合せ（地域名））(①準備編 84) を行なうことが必要です。

3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、チャンネルを順逆送りで選局することができます。

地上デジタル、BS、CS デジタル放送は選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

●有料番組を選んだとき 22

●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 93

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と ▮▮▮▮▮▮▮▮...... で画面に表示されます。

メ モ

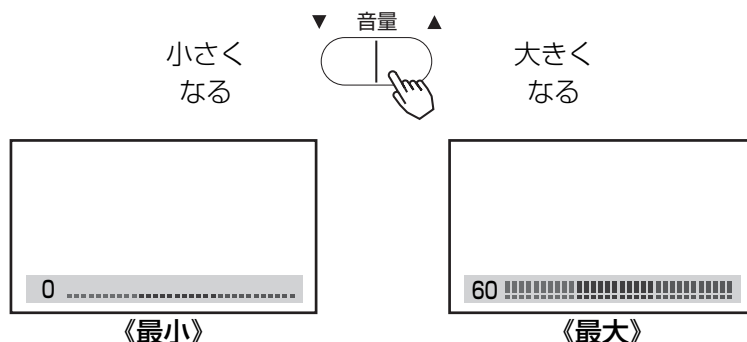
入力スキップ設定について

ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛び越し（スキップ）させることができます。
(①準備編 101)

チャンネルアップ / ダウン選局について

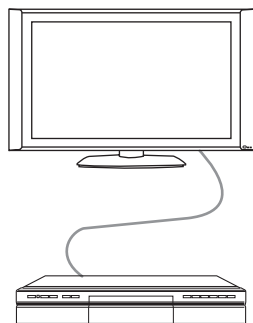
空きチャンネルの飛び越し選局の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。

●地上アナログ放送のとき
(①準備編 83)

●デジタル放送のとき
(①準備編 89 94)

他の機器の映像を楽しむ

ビデオなどの映像を見る

準　備

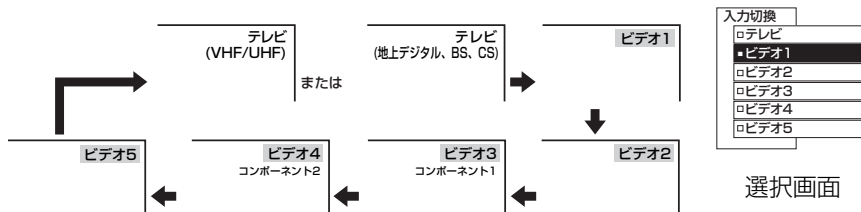
お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続方法については、別冊の取扱説明書 (①準備編 36) をご覧ください。

i.LINK 対応 D-VHS ビデオデッキなどを使用するときは 42 をご覧ください。

1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ 1 などのビデオ画面になります。）

6

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。

選択画面

●選択画面が表示されているときは、でビデオ入力を選択することもできます。このときは、決定ボタンを押すとすぐに選択できます。
●本体で操作する場合は、選択画面は表示されません。また、切り換え順序が異なります。31

3 ビデオを再生する

メ　モ

ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ 3、4 について
ビデオ 3、4 入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4 映像端子）です。D1 ～ D4 映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4 映像端子に接続すると「コンポーネント 1」または「コンポーネント 2」の表示がでます。(①準備編 37 42 46)

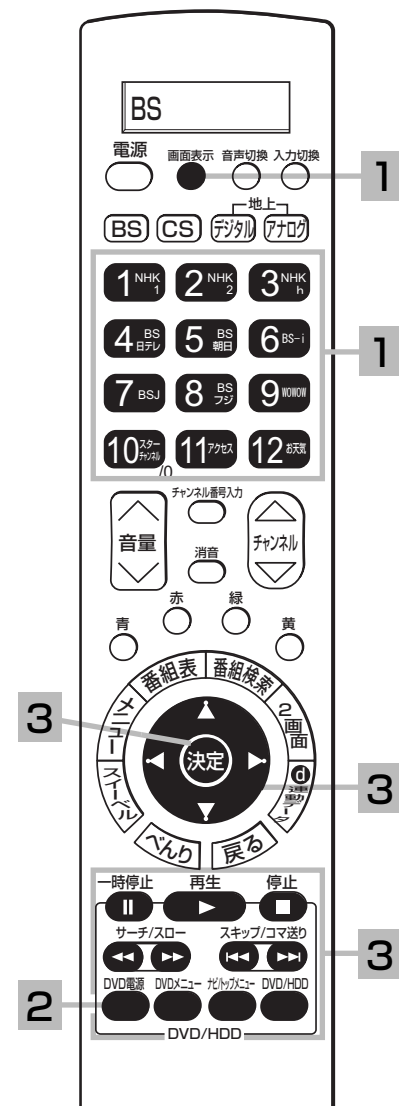
ビデオ 1、2 について
HDMI/DVI1 または 2 入力は、ビデオ 1 または 2 入力で選択することができます。
HDMI 信号を入力すると「HDMI1」または「HDMI2」の表示がでます。(①準備編 39)
DVI 信号を入力すると「DVI1」または「DVI2」の表示がでます。(①準備編 39)

入力スキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛び越し（スキップ）させることができます。
(①準備編 101)

ビデオ入力表示の書き換えについて
接続する外部機器に合わせてビデオ入力やコンポーネント入力の表示を書き換えることができます。(①準備編 102)

ディテールについて
映像がギラギラしていたり、ノイズが目立つ場合は、「映像」設定で「ディテール」を「切」にしてご覧ください。54

テレビのリモコンで DVD/HDD レコーダーなどを操作する

本機のリモコンで、各社の DVD プレイヤーや DVD/HDD レコーダーの再生操作ができます。

メーカー番号一覧表

タイプ A：DVD/HDD レコーダー
（一部の DVD レコーダーを含む）
タイプ B：DVD プレーヤー

メーカー	タイプ	番 号
日立	A	1 + 1 〜 10
	B	1 + 11 〜 12
松下	A	2 + 1 〜 3
	B	2 + 4 〜 5
東芝	A	3 + 1 〜 3
	B	3 + 4
パイオニア	A	4 + 1 〜 3
	B	4 + 4 〜 8
ソニー	A	5 + 1 〜 3
	B	5 + 4 〜 5
日本ビクター	A	6 + 1 〜 4
	B	6 + 5
シャープ	A	7 + 1 〜 2

メーカー設定のしかた

1 画面表示ボタンを押しながら、メーカー番号を入力する

メーカー番号一覧表を参考に、ご使用の機器のメーカー番号を設定してください。
(例) 日立製 DVD/HDD レコーダー (メーカー番号 1 5) の場合

押しながら

●設定を間違えたときは、はじめからやり直してください。
●お買上げ時は、「メーカー：日立、番号：1 4」に設定されています。
●乾電池を交換した場合は、お買上げ時の設定内容に戻ることがあります。このようなときは、もう一度設定してください。

2 リモコンをご使用の機器へ向け、DVD 電源ボタンを押す

DVD 電源ボタンを押して、設定した機器の電源が「入 / 切」できるか確認します。

DVD電源

●「入 / 切」できない場合は、メーカー番号を変えて再度設定してください。
●メーカーによって複数の番号がある場合は、動作するほうに設定してください。

操作のしかた

3 リモコンをご使用の機器へ向け、それぞれのボタンを押して操作する

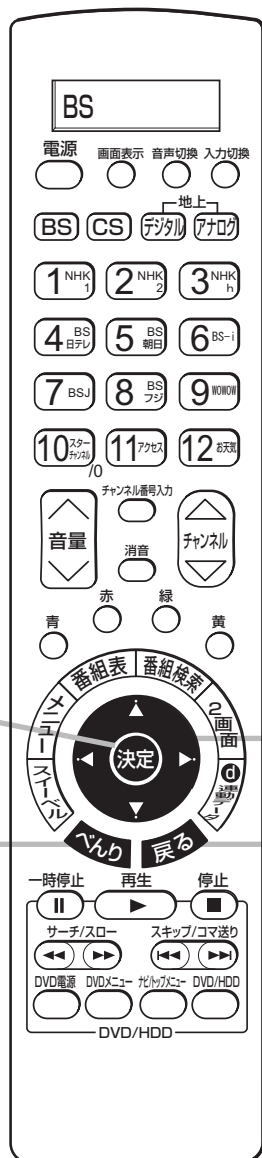
ボタン	機能
DVD電源	電源を「入 / 切」する
再生	再生する
サーチ/スロー	再生中に押すと、早送りまたは早戻し再生する (機器により、スローと兼用している場合があります)
スキップ/コマ送り	再生中に押すと、前方向または後方向の頭出しをする (機器により、コマ送りと兼用している場合があります)
停止	再生を停止する
一時停止	一時停止する
DVDメニュー	DVD メニューを表示する
ナビ/トップメニュー	録画した番組のリストを表示する (機器により、トップメニューと兼用している場合があります)
DVD/HDD	DVD または HDD を選択する
決定	録画した番組リスト、DVD メニューを選択する (DVD メニュー、ナビ / トップメニューボタンを押したときのみ有効)

お知らせ

● DVD メニュー、ナビ / トップメニューボタンを押してから 30 秒間は、カーソル / 決定ボタンを接続機器の操作にご使用できます。また、カーソル / 決定ボタンを操作するたびに 30 秒間延長します。
● 表に記載してあるメーカーの機器であっても機器によっては対応できない場合があります。
● カーソル / 決定ボタンが操作できない場合は、リモコンを接続機器に向けないで DVD メニューまたはナビ / トップメニューのいずれかを押してから操作してください。

「かんたん操作」で外部機器を操作する

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
かんたん操作機能をご使用になるには IR コントロール設定 (①準備編 103) で、ご使用になる外部機器とメーカーを設定してください。

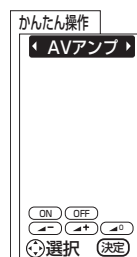
かんたん操作画面の使いかた

準備

①あらかじめ接続する外部機器を IR コントロール設定画面で登録します。
(①準備編 103)
②かんたん操作モードを設定します。73

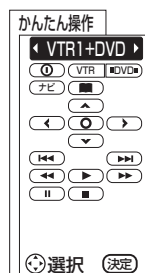
1 べんりボタンを押し、(上下)で「外部機器操作」を選び、(右)または決定ボタンを押す

2 (上下)で「かんたん操作」を選び、決定ボタンを押す

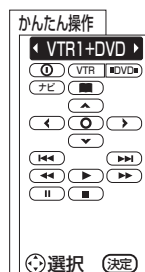
かんたん操作画面が表示されます。

(テレビに AV アンプが設定されている場合)

3 (左右)で操作する外部機器を選ぶ

(左右)を押すごとに、下記の入力端子に接続した外部機器が選択できます。

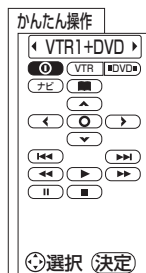
テレビ / ビデオ 1/ ビデオ 2/ ビデオ 3/ ビデオ 4/ ビデオ 5

●入力表示書換設定で各入力端子に設定した外部機器の名称が表示されます。右図はビデオ 1 入力端子に VTR1 ＋ DVD（外部機器 DVD 付き VTR）を設定したときの例です。
●テレビは、地上アナログ放送とデジタル放送を意味します。
●入力スキップを設定したビデオ入力は選ぶことができません。

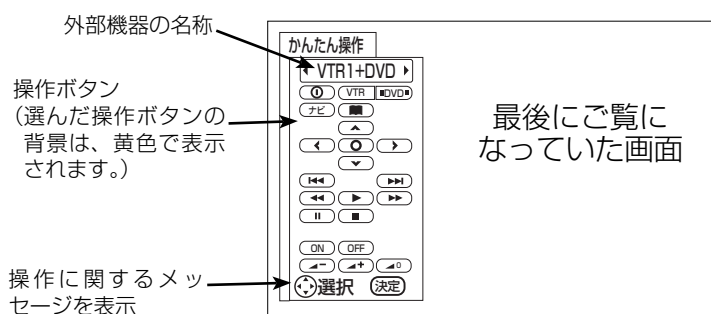
4 決定ボタンを押す

操作する外部機器の映像をご覧になりたいときに押します。
操作する外部機器が接続されたビデオ入力が選択されます。

お知らせ

●デジタル放送を予約録画実行中は、かんたん操作機能をご使用になれません。
●手順4で決定ボタンは長押ししないでください。リモコン送信機と IR コントローラーからのリモコン信号が干渉しやすくなり、外部機器が正常に動作しにくくなることがあります。

5 ◯を押し◯で操作ボタンを選び、決定ボタンを押す

◯を押すと、カーソルが操作ボタンに移ります。
決定ボタンを押すと IR コントローラーのリモコン発光部から外部機器を制御する信号が送信されます。

6 戻るボタンを押す

●かんたん操作画面が解除されます。
●チャンネルボタン、チャンネルアップ / ダウンボタン、入力切換ボタンを押すと、かんたん操作画面は解除されます。
●メニューやべんりなど他のメニュー画面を出したときもかんたん操作画面が解除されます。

メ　モ

●入力端子「テレビ / ビデオ」で外部機器に「AV アンプ」を設定すると、入力端子「ビデオ 1」～「ビデオ 5」でも共通で使用することができます。
（①準備編 103）
●操作ボタンのチャンネルアップ / ダウン（⊕、⊖）、音量アップ / ダウン（◢+、◢-）は、決定ボタンを押す毎に 1 チャンネルまたは 1 ステップずつ変化します。
●操作ボタンの巻戻し（早戻し）/ 早送り（◀◀、▶▶）、スキップ（I◀◀、▶▶I）は、決定ボタンの長押しによる連続操作に対応していないため、外部機器付属のリモコン送信機と同じ操作ができないことがあります。
●選択された外部機器または操作ボタンは、チャンネルまたは入力の切り換えを行うと、外部機器は「テレビ」に戻ります。

かんたん操作画面の説明

操作ボタン一覧

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
⏻	電源	▶	再生	⊕	チャンネルアップ
📖	メニュー	❚❚	一時停止	⊖	チャンネルダウン
▲▼◀▶	カーソル	■	停止	↘	衛星切換
○	決定	●	録画（VTR機器のみ）	⓪~⑨	チャンネル番号
ナビ	ナビ	◀◀	巻戻し/早戻し	⏻	アンプ電源（AVアンプ）
VTR / DVD	VTR/DVD切換	▶▶	早送り	◢+	音量アップ（AVアンプ）
HDD / DVD	HDD/DVD切換	I◀◀	一つ前へスキップ	◢-	音量ダウン（AVアンプ）
		▶▶I	一つ先へスキップ	◢0	消音（AVアンプ）
				ON	電源ON（AVアンプ）
				OFF	電源OFF（AVアンプ）
				↘	入力切換（AVアンプ）

リモコンスルー機能で操作する

本機に接続した外部機器を離れた場所に設置したときに、画面を見ながら外部機器を操作したいときに、外部機器付属のリモコン送信機を、本機のリモコン受信窓に向かって操作します。
本機能をご使用になるときは、「かんたん操作」の設定を「2」に設定します。73

お知らせ

●ご使用の外部機器によっては、リモコンスルー機能で操作できないことがあります。このようなときは、外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
●本機と外部機器を近い位置に設置したときなどに、本機に向かって操作したリモコン信号と IR コントローラーからのリモコン信号とが干渉して正常に動作しないことがあります。このようなときは、「かんたん操作」の設定を「1」にして 73 、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。

デジタルカメラの画像を見る

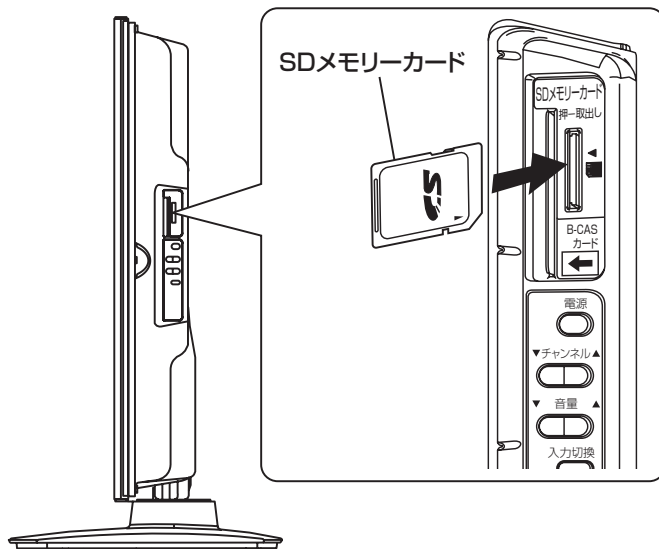
本機は、デジタルカメラで SD メモリーカードに記録した静止画像を再生して、テレビ画面でご覧になることができます。(この時、音声は出力されません。)

お守りください

SD メモリーカード（またはマルチメディアカード）以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

SD メモリーカードを入れる

1 SD メモリーカードを挿入する

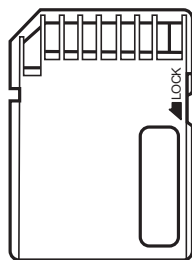
SD メモリーカードには裏表があります。表面を本機の背面側に向けて（切り欠きを下にして）、まっすぐ奥まで差し込んでください。

SD メモリーカードの抜きかた

SD メモリーカードの抜きかた

挿入されている SD メモリーカードを奥に押して指を離せば出てきます。

お知らせ

SD メモリーカードについて

●ＳＤメモリーカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵したほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

●マルチメディアカード（MultiMediaCard™）との上位互換があるため、本機では SD メモリーカードと同様にマルチメディアカードもご使用になれます。

●メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

● SD メモリーカードまたはマルチメディアカードによっては、本機で動作しない場合があります。

お守りください

SD メモリーカードの取り扱いについて

●メモリーカードは精密機器です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

●メモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。

●メモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。

●メモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。

●メモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。

●メモリーカードの画像を見ているときは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

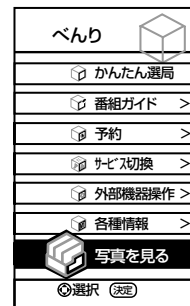
写真を見る

本機ではデジタルカメラなどで記録した画像データを表示することができます。
表示できる画像データは、DCF 規格の画像データです。

お知らせ

- 水平方向の画素数が 3072 画素、垂直方向の画素数が 2304 画素をこえる画像は表示することができません。
- 表示できる画像データは 999 個までです。
- DCF(Design rule for Camera File system) とは、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
- サムネイルがない画像データはサムネイルが表示されません。
- パソコンなどで編集した画像データや画像データの種類によっては表示されないことがあります。
- 拡張端子に接続したメモリーカードリーダーやデジタルカメラに挿入されたメモリーカードの画像データも同様の操作で表示することができます。拡張端子に接続できる機器は（①準備編 48）をご覧ください。
- 大切なデータは、バックアップを取って置くことをおすすめします。
- 本機能を私的な目的以外でご利用にならないでください。著作権法上違反になる場合があります。

1 べんりボタンを押し、（上下）で「写真を見る」を選び、決定ボタンを押す

写真を見る画面で画像データのサムネイル一覧が表示されます。

「カードを挿入してください」とメッセージが表示された場合は、メモリーカードが挿入されていることを確認してください。

2 （上下左右）でサムネイルを選び、決定ボタンを押す

選択したサムネイルが 1 画面表示されます。

- 画像データのサムネイルを最大 9 個表示します。10 枚以上の画像データが SD メモリーカードに登録されているときは、下端から（下）ボタンで表示送りすることができます。
- （黄）ボタンを押すごとに、90 度ずつ時計まわりに回転します。
- サムネイルを選択して（赤）ボタンを押すと、スキップ設定がされます。スキップ設定された画像データはスライドショーでは表示されません。
- 数字ボタンで 3 桁の数字を入力すると、指定したサムネイルを選択することができます。12 枚目を選択するときは、（1）、（2）と押します。総数が 100 枚以上のときは、（10/0）、（1）、（2）のように 3 桁で入力します。

3 戻るボタンを押す

写真を見る画面に戻ります。

4 戻るボタンを押して、メニューを消す

写真を見る画面を終了し、放送画面に戻ります。

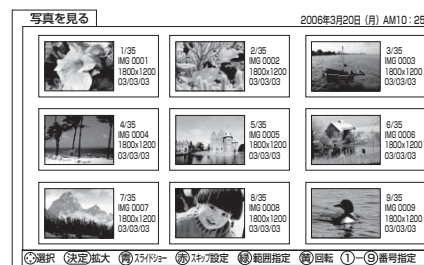
デジタルカメラの画像を見る

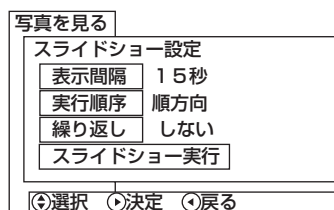
スライドショーを表示する

画像データを自動的に切り換えて表示することができます。

写真を見る 39 を表示させ、スライドショーを開始したいサムネイルを
◎または数字ボタンで選びます。

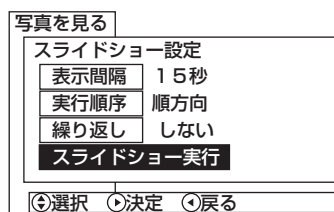
1 青ボタンを押す

スライドショー設定画面が表示されます。

2 ◎で設定したい項目を選び、▶または決定ボタンを押し、◎で設定する

写真を見る
スライドショー設定
表示間隔 15秒
実行順序 順方向
繰り返し しない
スライドショー実行
選択 決定 戻る

設定項目	▶ ➡ ◎	設定のポイント
表示間隔（秒）	5/10/15/20/25/30/35/40/45/50/55/60	画像を表示し終わってから次の画像を表示し始めるまでの時間を指定することができます。
実行順序	順方向 / 逆方向	サムネイルに表示されている番号が大きくなる方向に切り換えるときは、順方向に設定します。
繰り返し	する / しない	「する」に設定すると、最後の画像データを表示した後は、自動的に最初の画像データに戻って表示が続けられます。

3 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

4 ◎で「スライドショー実行」選び、決定ボタンを押す

スライドショー（自動設定）が開始されます。

5 戻るボタンを押す

スライドショーを終了し写真を見る画面に戻ります。

お知らせ

- 緑 ボタンを押すとスライドショーで表示する範囲の指定ができます。
- 緑 ボタンで設定した表示する範囲の指定は、スライドショーを終了すると解除されます。
- スキップと回転の設定内容は、記録されている内容が異なる SD メモリーカードを挿入するまで保存されます。

i.LINK 接続機器を操作する

i.LINK について

**i.LINK の規格や特長について説明します。i.LINK を使って操作する前にお読みください。
なお、i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については次頁をご覧ください。**

i.LINK とは

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394 の呼称です。IEEE1394 は米国電気電子技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps ／ 200Mbps ／ 400Mbps の転送速度があり、転送速度は i.LINK 端子の周辺にそれぞれ S100、S200、S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送が可能なため、S400 と表示されています。
また、i.LINK は直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。ケーブル 1 本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できる i.LINK は、今後さまざまなデジタル AV 機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

リンクとは

「リンク」をするとは、操作したい相手の機器を 1 台選ぶことを意味します。
ケーブルで接続しただけでは i.LINK 対応機器を操作したり、映像や音声などのデータをやりとりすることはできません。
操作する前に、必ず相手の機器をリンクしてください。

- **i.LINK 対応機器の録画中に、i.LINK で接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器を i.LINK で接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。**
- **リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。**

本機と接続して動作する i.LINK 対応機器

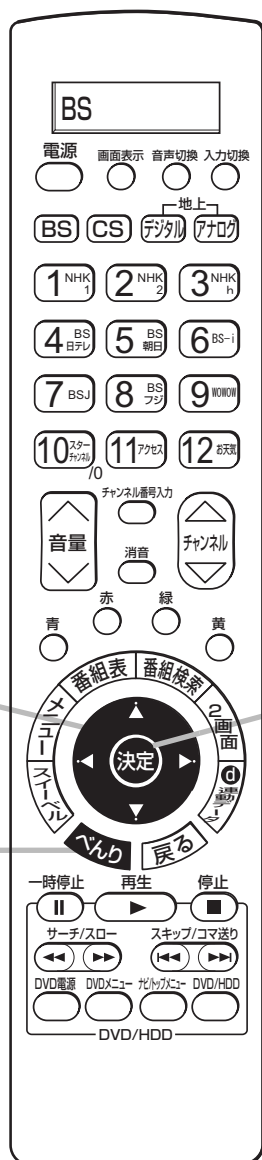
本機と i.LINK ケーブルで接続した場合の i.LINK 機器操作、予約録画、再生の動作を確認しています。

D-VHS ビデオデッキ	: DT-DRX100（日立製：生産完了品）
	: HM-DHX2（日本ビクター製）
	: HM-DHX1（日本ビクター製）
	: HM-DHS1（日本ビクター製）
ハードディスクレコーダー	: HVR-HD160M(I · O DATA 製)
	: HVR-HD250M(I · O DATA 製)
	: HVR-HD250F(I · O DATA 製)
	D-VHS モードで、ご使用ください。

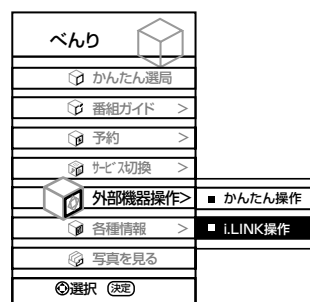
本機と i.LINK 対応機器との接続については、別冊の取扱説明書「i.LINK 対応機器と接続する」(①準備編 38）をご覧ください。

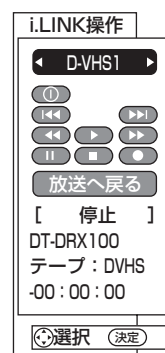
他の機器の映像を楽しむ

D-VHS ビデオデッキなどを操作する

i.LINK ケーブルでつないだ i.LINK 対応 D-VHS ビデオなどを本機で操作したり、映像や音声などのデータをやりとりするには、必ず操作したい機器をリンクしてください。

1 べんりボタンを押し、（上下）で「外部機器操作」を選び、（右）または決定ボタンを押す

2 （上下）で「i.LINK 操作」を選び、決定ボタンを押す

i.LINK 操作画面が表示されます。

3 （左右）で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

相手機器をリンクします。

●登録した機器が 3 台までのときは、自動的に操作パネルに D-VHS1 ～ D-VHS3 や DV が登録されています。
表示される名称（接続名）は、本機に接続した順に自動でつけられています。

●操作パネルに表示されている機器をリンクできない場合、i.LINK 機器設定画面 (①準備編 106) で実際に接続されているかをご確認ください。

●再生状態から停止しても本機では、i.LINK 入力状態のままになっています。「放送へ戻る」を選択し、決定ボタンを押すとデジタル放送に戻ります。

お知らせ

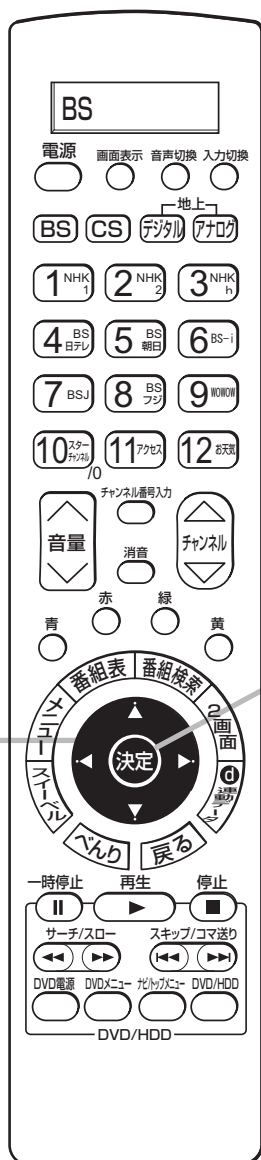
●本機で操作パネルに登録できる i.LINK 対応の D-VHS ビデオなどは 3 台までです。
● 3 台以上の機器が接続されている状態でも、i.LINK 機器設定画面 (①準備編 106) で操作パネルへの登録を解除していて、登録台数が 3 台に満たないときは、新たに接続した機器が自動的に登録されます。
●接続する機器によっては、接続する機器の電源が入っていないと正しく接続できない場合があります。そのような時は、接続機器の電源を入れてから接続してください。
●操作ボタンを選んで決定ボタンを押してから、実際に表示が現れるまで数秒かかる場合があります。
●操作ボタンを使用して操作する場合と、ビデオのリモコンで操作する場合とで動作が異なる場合があります。
●登録機器がないときは、操作ボタンなどが表示されている部分は表示されません。
●リンクしている機器がないときは、操作ボタンなどは選択できません。操作したい機器を必ずリンクしてください。
●リンクしている D-VHS ビデオなどを、ビデオのリモコンなどで直接操作したい場合、操作内容に応じて表示が変わります。ただし、操作パネルにない機能は、正しく機器の状態が表示されないことがあります。
●リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。
●リンクしていない機器を操作することはできません。
●「放送へ戻る」ボタンはリンクしている機器が再生中の場合には動作しません。
●操作する機器の取扱説明書をよくお読みください。
● DV 方式デジタルビデオカメラの機種によっては i.LINK 接続できません。その場合は映像･音声ケーブルで接続してください。
● DV 方式デジタルビデオカメラを可変速再生中または可変速再生から再生に戻したときなどに音声にノイズがでる場合がありますが、故障ではありません。

i.LINK 操作画面の説明

操作ボタンは○で選び、決定ボタンを押すと、操作が始まります。

予約する

番組を予約する

放送中の番組や、まだ放送が始まっていないデジタル放送の番組を予約することができます。予約できる番組は 28 番組までです。IR コントローラーや i.LINK を使用すれば、予約とビデオの録画を連動させることもできます。

1 番組表 28 や番組検索 21 などで、予約する番組を選び、決定ボタンを押す

予約画面が表示されます。

●録画予約されている番組には時計のマークが表示されます。
●視聴予約されている番組には目のマークが表示されます。
●予約されている番組がある場合、時刻表示の右側に予約を示す帯を表示します。

2

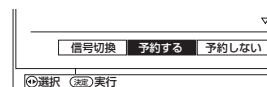
放送中の番組を予約するとき

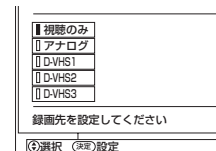
◁▷で「録画」を選び、決定ボタンを押す

予約実行時の映像、音声、字幕を選択する場合は、「信号切換」を選び、決定ボタンを押します。

まだ放送が始まっていない番組を予約するとき

◁▷で「予約する」を選び、決定ボタンを押す

予約実行時の映像、音声、字幕を選択する場合は、「信号切換」を選び、決定ボタンを押します。

3 △▽で録画する機器を選び、決定ボタンを押す

予約登録され、元の画面に戻ります。

●「視聴のみ」に設定すると、視聴予約として登録されます。本機の電源をオン（受像）にしておけば、開始時刻になると予約されたチャンネルを選局します。以降は通常の操作が行えます。
● IR コントローラー (①準備編 103) または入力自動録画 89 により外部録画機器へ録画するときは「アナログ」を選んでください。
● i.LINK 対応 D-VHS ビデオなどを接続しているときには、録画先として DVHS も表示されます。

お知らせ

- IR コントローラーや i.LINK を使って録画予約をするには、IR コントローラーを設定する（①準備編 103）または、i.LINK 対応 D-VHS などの場合、i.LINK 機器設定画面（①準備編 106）により、操作パネルへの登録を行ってください。
- 予約する番組が、ペイ･パー･ビュー番組の場合、購入画面が表示されます。番組によっては録画購入できない場合があります。また、予約実行時、B-CAS カードが挿入されていない、または B-CAS カードの条件によっては予約実行されません。実際に課金されるのは、予約実行時になります。
- 予約する番組が視聴制限の対象になる場合、制限解除画面が表示されます。
- すでに録画予約した番組と放送時間が重なる場合は録画予約できません。また、放送開始時刻の約 1 分前からは予約できません。
- 視聴予約をした場合、開始時刻から 2 分間は、他の予約の開始時刻を設定することはできません。
- 予約実行時の「映像」、「音声」、「字幕」を選択できる場合があります。ただし、追加購入が必要になる場合や、選択するものがない場合は選択できません。
- 予約実行時の「字幕」を字幕ありに設定すると、予約実行後は字幕ありに設定されます。18
- 予約が登録されると前面の録画 / 予約ランプが橙色に点灯します。また、録画予約実行中は赤色に点灯します。

番組を予約する（つづき）

予約後の注意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。

●有料番組を予約した場合は、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
●有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画されていなくても料金が請求されます。
●番組によっては放送時間が変更される場合があります。
●録画予約した後に電源を切る場合は、リモコンで電源を切ってください。**主電源スイッチを切った場合は録画されません。**
●視聴予約は本機の電源がオン（受像）しているときに動作します。視聴予約した番組が始まる約 1 分前には、本機の電源をオンにしておいてください。

番組予約画面で録画する機器を選んだ場合（録画予約）

●録画予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。
● IR コントローラーを使用して録画機器で録画予約する場合は下記の点にご留意ください。
1. 録画機器の入力を本機のモニター出力を接続した外部入力に切り換えて、電源を「切」にしてください。また、録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。
2. 録画機器側で録画予約の設定をしたり、予約録画の待機状態にはしないでください。
3. 予約実行中は、録画機器の操作は行わないでください。録画が中止されるなどにより、正常に録画できません。
4. 電子番組表 (EPG) などの情報を自動で取得する録画機器では、情報取得時に録画予約が開始すると正常に録画できない場合があります。このような場合は、EPG 取得時間と録画予約時間が重ならないようにするか、または録画機器側で録画予約を行ってください。

● i.LINK 接続を使用して録画予約を設定した場合、録画機器側で録画予約の設定をしたり、録画予約の待機状態にはしないでください。
● IR コントローラーや i.LINK 接続を使用できない録画機器で録画する場合は、録画機器側で録画予約の設定を行ってください。
●字幕のある番組を字幕表示付きで録画したい場合は、字幕表示出力設定 90 、または番組を予約する 44 で字幕を選択し、メニューの字幕表示出力 90 を「する」に設定してから録画を行ってください。字幕表示出力を「しない」に設定していると字幕は録画されません。また、メニューの字幕表示出力 90 を「する」に設定すると、録画優先となりますので視聴中の画面には字幕は表示されません。

番組予約画面で録画する機器「視聴のみ」を選んだ場合（視聴予約）

予約した番組が始まる約 1 分前には本機の電源をオン（受像）にしておいてください。電源をオフにしていると予約が無効になります。

予約録画の停止について

予約録画実行中に、べんりボタンを押して「予約」メニューを開き、「予約録画停止」を選んで決定ボタンを押すと、予約録画を途中で解除することができます。9
IR コントローラーを使用して録画予約を行っている場合は、予約録画を解除しても、録画機器は録画状態のままで終了時刻になっても停止しません。

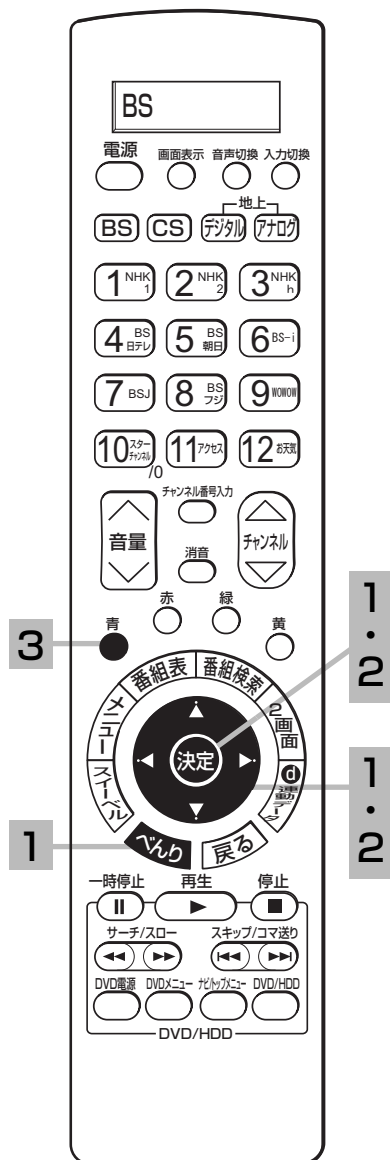
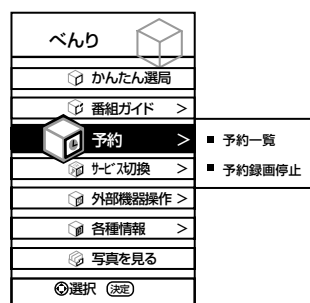
お知らせ

予約実行について

●予約開始時刻の約 15 秒前に、予約開始のメッセージが画面に表示されます。
●電源スタンバイ状態で予約が実行される場合、開始時刻の約 5 分前に機能待機になります。番組終了後、電源スタンバイ状態に戻ります。
●録画予約の場合、接続している録画機器によっては、開始と終了部分が数秒録画できない場合があります。
●終了時刻を 1 分後に設定することはできません。

マニュアル予約や予約内容の修正をする

予約したいチャンネル、開始・終了時刻、日付などを直接指定して予約します。現在より 1 ヶ月先までのデジタル放送の番組を予約することができます。
また、登録した予約内容を修正することができます。

重要 マニュアル予約では、ペイ・パー・ビュー番組や視聴制限の対象になる番組は、ご覧になることができません。

1 べんりボタンを押し、(▲▼)で「予約」を選び、(▶)または決定ボタンを押す

2 (▲▼)で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

予約一覧画面が表示されます。

3 (青)ボタンを押す

●新規の予約内容が現在時刻で表示されます。

●すでに登録済みの予約内容を修正する場合は、(青)ボタンを押さないで修正したい予約を(▲▼)で選び(▶)を押します。

お知らせ

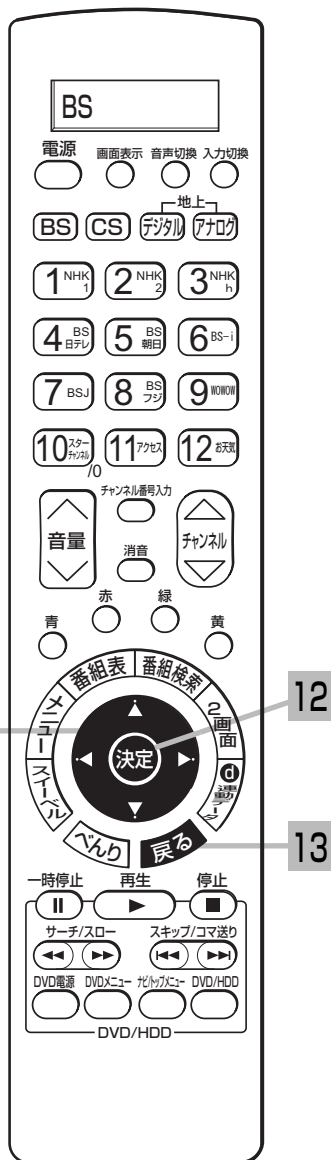
●予約開始約 1 分前から、終了後 10 秒の間は、予約一覧画面を表示することができません。

●マニュアル予約した場合、番組名は表示されません。

(次ページにつづく)

予約する

マニュアル予約や予約内容の修正をする（つづき）

4 で日付を設定し、 を押す

予約一覧

日付	開始	終了	チャンネル	録画先
6/29（水）	AM10：35	AM11：35	BS181	アナログ
6/20（月）	AM10：25	AM10：25	BS181	アナログ

●日付の設定するときに で毎日（毎日、月ー金、月ー土）や毎週の設定ができます。

5 で開始の「AM」または「PM」を設定し、 を押す

予約一覧

日付	開始	終了	チャンネル	録画先
6/29（水）	AM10：35	AM11：35	BS181	アナログ
6/21（火）	AM10：25	AM10：25	BS181	アナログ

6 で開始の時間を設定し、 を押す

予約一覧

日付	開始	終了	チャンネル	録画先
6/29（水）	AM10：35	AM11：35	BS181	アナログ
6/21（火）	PM10：25	AM10：25	BS181	アナログ

7 で開始の分を設定し、 を押す

予約一覧

日付	開始	終了	チャンネル	録画先
6/29（水）	AM10：35	AM11：35	BS181	アナログ
6/21（火）	PM10：25	AM10：25	BS181	アナログ

8 手順 5 ～ 7 と同様に終了時刻を設定する

お知らせ

●予約している途中で修正するときは、 ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで戻して行ってください。
●昼の 12 時は「PM0:00」、夜の 12 時は「AM0:00」に合わせてください。

9 ◯で「□（空白)」、「BS」または「CS」を設定し、◯を押す

予約一覧

日付	開始	終了	ﾁｬﾝﾈﾙ	録画先
6/29（水）	AM10：35	AM11：35	BS181	アナログ
6/21（火）	PM10：30	PM11：30	BS181	アナログ

●「□（空白)」は、地上デジタル放送の受信設定をしているときに設定できます。

10 ◯でチャンネルを設定し、◯を押す

2006年3月2

始	終了	ﾁｬﾝﾈﾙ	録画先	音声
10：35	AM11：35	BS181	アナログ	①主音声/副音声
10：30	PM11：30	BS181	アナログ	①主音声/副音声

地上デジタル放送では、チャンネルの枝番入力が必要な場合は、◯で枝番を設定し、◯を押します。

11 ◯で録画先を設定し、◯を押す

2006年3月20日

終了	ﾁｬﾝﾈﾙ	録画先	音声
AM11：35	BS181	アナログ	①主音声/副音声
PM11：30	BS181	アナログ	①主音声/副音声

音声、字幕を設定する場合は、◯で選択項目を選び、◯を押します。

12 決定ボタンを押して、予約登録する

予約内容を確認し、予約一覧画面に戻ります。

13 設定が終了したら、戻るボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

●マニュアル予約した場合、番組名は表示されません。
●アナログ放送は選択できません。

予約する

予約の確認、取り消しをする（予約一覧削除）

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、取り消しができます。

1 べんりボタンを押し、（上下）で「予約」を選び、（右）または決定ボタンを押す

2 （上下）で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

予約一覧画面が表示されます。

3 予約内容を確認する

予約内容を取り消す場合

①取り消しする予約を（上下）で選び、（赤）ボタンを押す

②取り消し確認で（左右）で「はい」を選び、決定ボタンを押す

4 戻るボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

予約開始約 1 分前から、終了後 10 秒の間は、予約一覧画面を表示することができません。